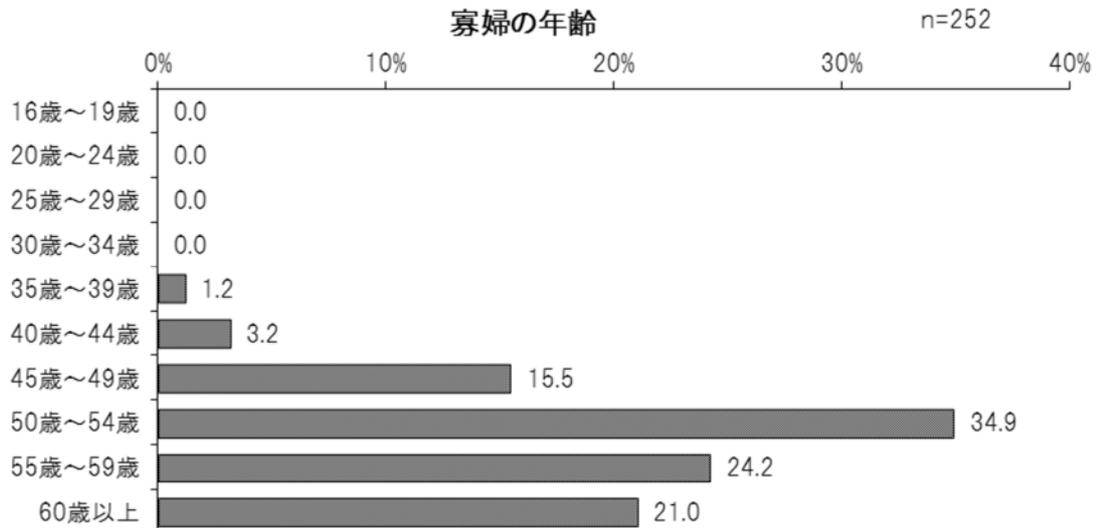


3 寡婦世帯

(1) 世帯の状況について

問 1 あなたの現在の年齢はおいくつですか。

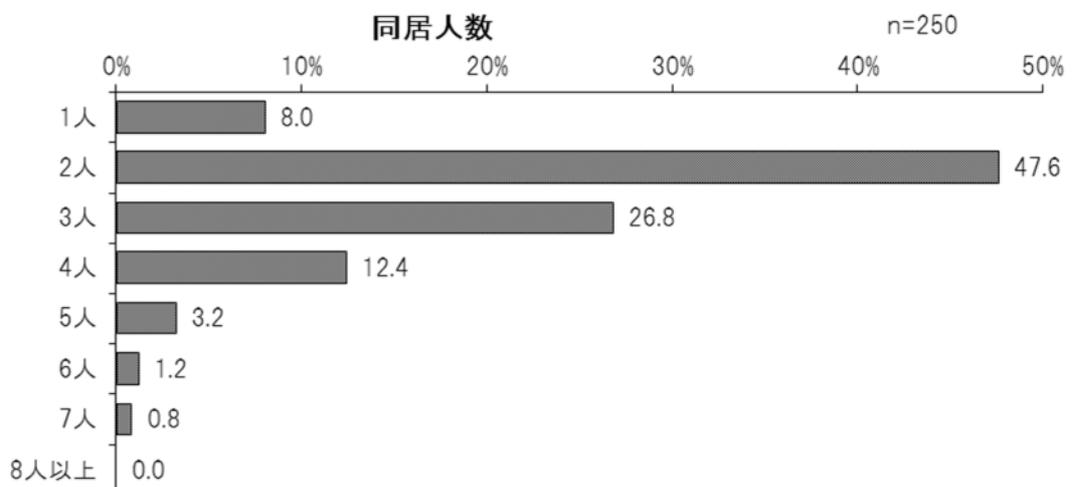
寡婦の年齢は「50歳～54歳」の割合が34.9%と最も高く、次いで「55歳～59歳」が24.2%、「60歳以上」が21.0%、「45歳～49歳」が15.5%の順となっている。



問 2 あなたと同居されている方は何人いらっしゃいますか。
あなたを含めた人数でお答えください。

本人を含む同居者の人数は、「2人」と回答した人の割合が47.6%と最も高く、次いで「3人」が26.8%、「4人」が12.4%、「1人」が8.0%の順となっている。

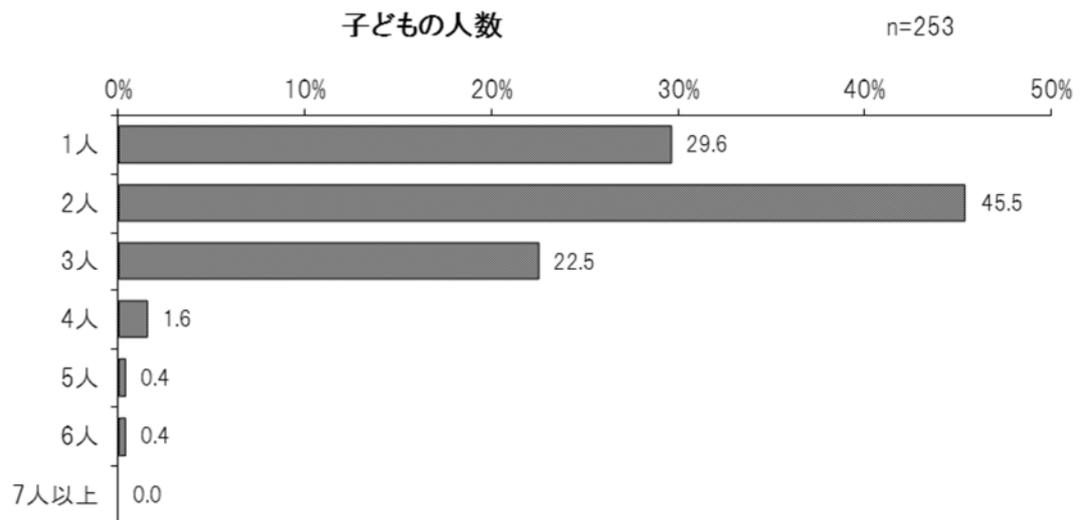
また、平均同居人数は、2.62人となっており、前回調査の平均同居人数2.33人と比較してやや増加している。



問 3-1

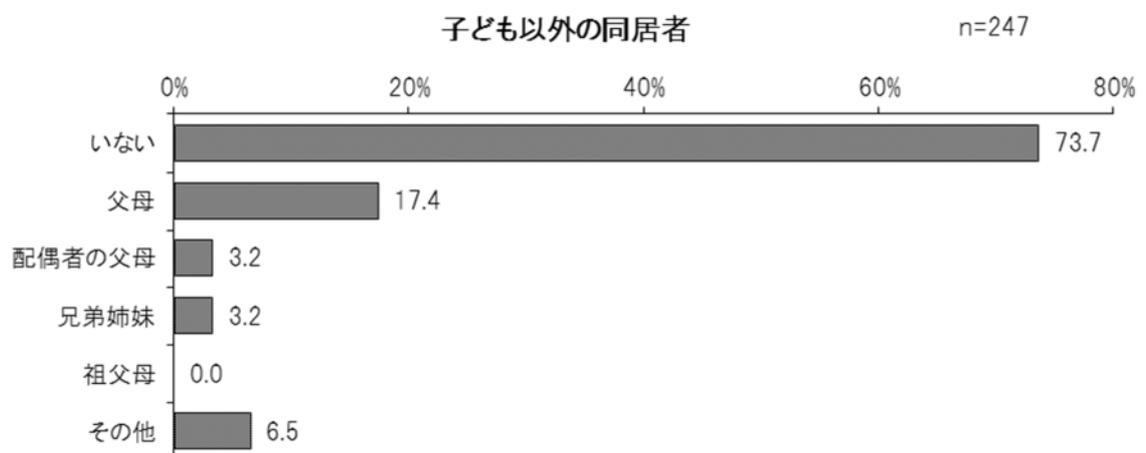
あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。
別居中の子どもさんや結婚された子どもさんも含めてお答えください。
「1 いる」とお答えになった方について、お子さんの年齢別の人数をお答えください。

子どもの人数は、「2人」と回答した人の割合が45.5%と最も高く、次いで「1人」が29.6%、「3人」が22.5%の順となっている。また、子どもの平均人数は1.99人となっており、前回調査の平均人数2.16人と比較してやや減少している。

**問 4**

あなたは、現在、お子さん以外にどなたと同居されていますか。該当するものすべてお答えください。

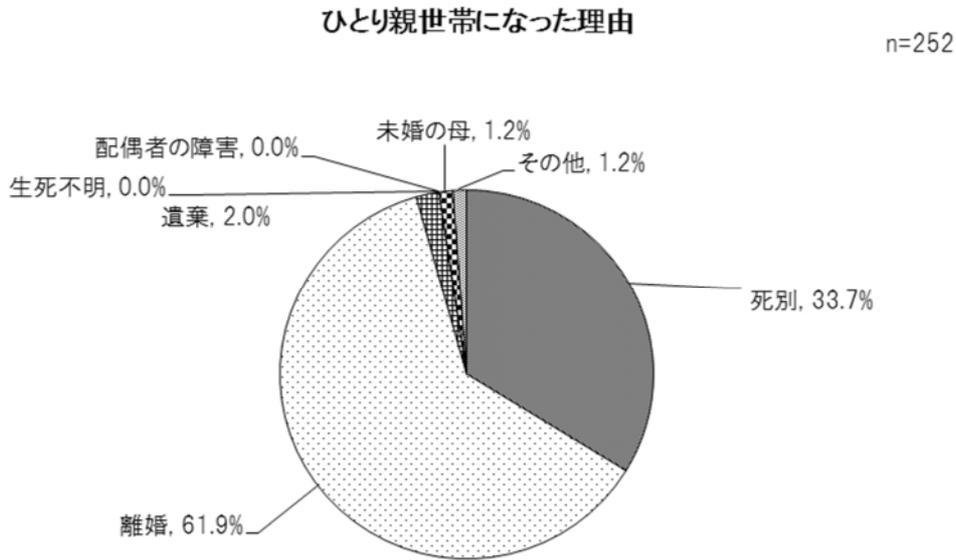
子ども以外の同居者は、「いない」と回答した人の割合が73.7%と最も高く、次いで「父母」が17.4%、「配偶者の父母」、「兄弟姉妹」がそれぞれ3.2%の順となっている。



(2) ひとり親世帯等になった当時の状況について

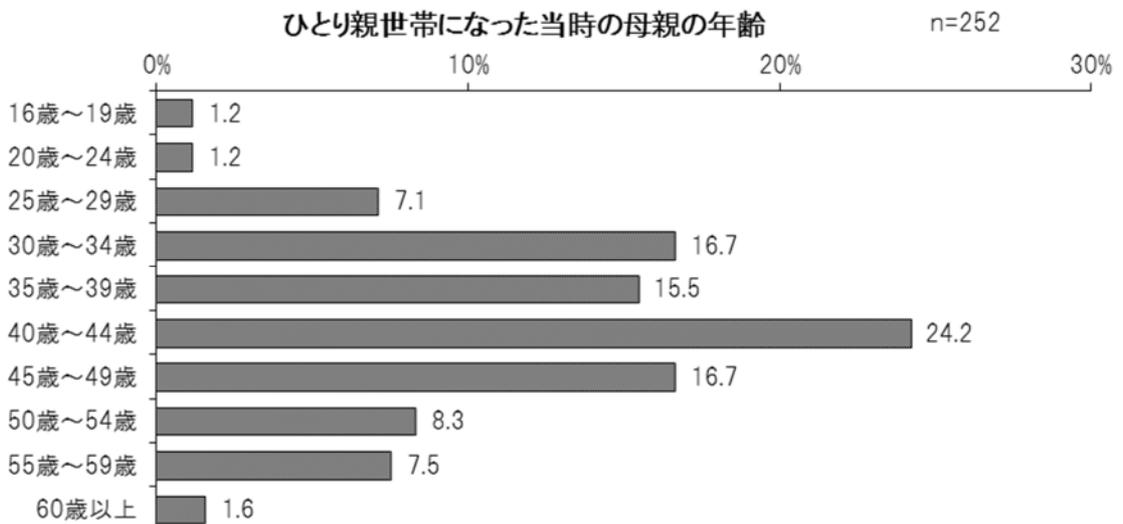
問 5 あなたがひとり親世帯になった理由は何ですか。

ひとり親世帯になった理由は、「離婚」と回答した人の割合が 61.9%と最も高く、次いで「死別」が 33.7%、「遺棄」が 2.0%の順となっている。



問 6 ひとり親世帯になった時、あなたは何歳でしたか。

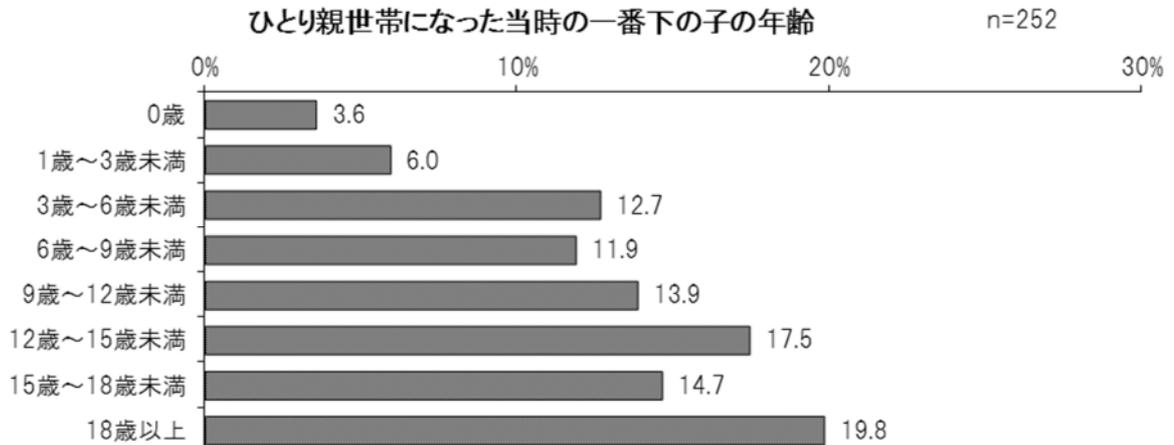
ひとり親世帯になった当時の母親の年齢は、「40歳～44歳」と回答した人の割合が 24.2%と最も高く、次いで「30歳～34歳」、「45歳～49歳」がそれぞれ 16.7%、「35歳～39歳」が 15.5%の順となっている。また、ひとり親世帯になった当時の母親の平均年齢は 41.6歳となっており、前回調査の平均年齢 38.5歳と比較して 3.1歳高くなっている。



問 6-1

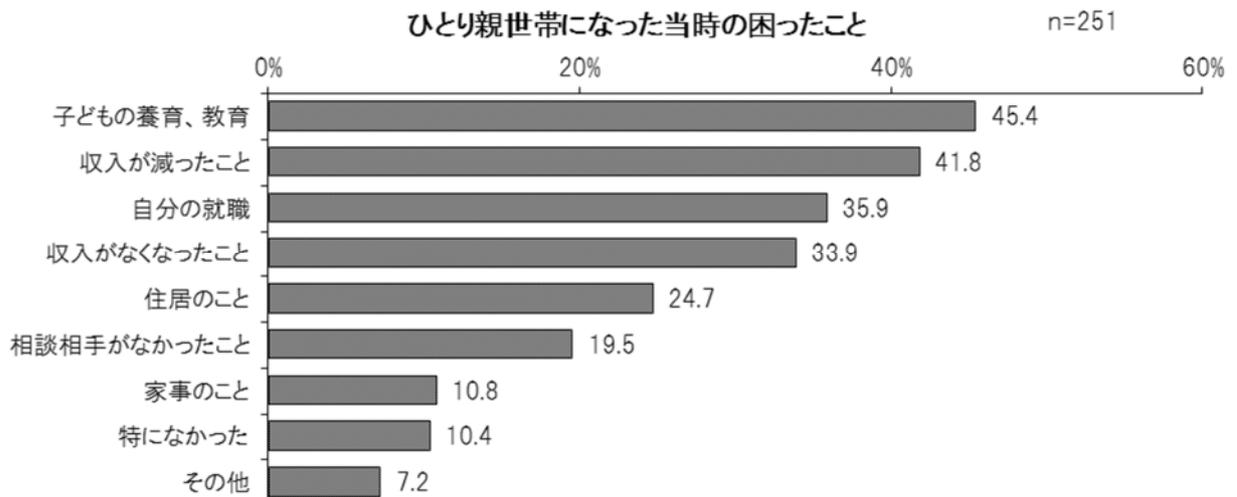
また、その時一番年齢の低いお子さんは何歳でしたか。

ひとり親世帯になった当時、一番年齢の低かった子どもは、「18歳以上」と回答した人の割合が19.8%と最も高く、次いで「12歳～15歳未満」が17.5%、「15歳～18歳未満」が14.7%、「9歳～12歳未満」が13.9%の順となっている。また、当時の一番年齢の低い子どもの平均年齢は12.1歳となっており、前回調査の8.2歳と比較して3.9歳高くなっている。

**問 7**

ひとり親世帯となった当時、お困りになったことがありましたか。主なものを3つ以内でお答えください。

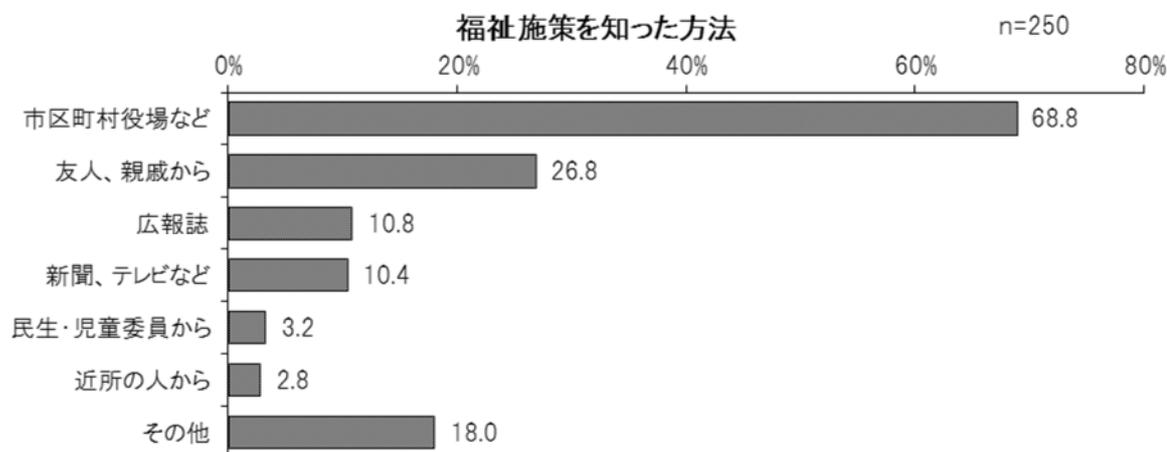
ひとり親世帯になった当時の困ったことは、「子どもの養育、教育」と回答した人の割合が45.4%と最も高く、次いで「収入が減ったこと」が41.8%、「自分の就職」が35.9%、「収入がなくなったこと」が33.9%、「住居のこと」が24.7%の順となっている。



問 8

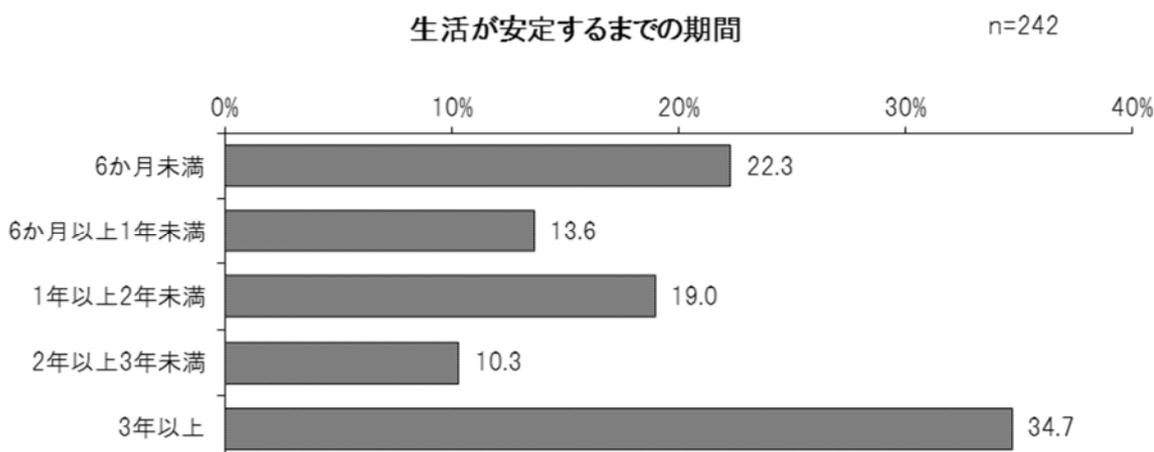
ひとり親世帯となった当時、手当や年金などの福祉施策を、どのような方法でお知りになりましたか。主なものを3つ以内でお答えください。

ひとり親世帯となった当時、手当や年金などの福祉施策を知った方法は、「市区町村役場など」と回答した人の割合が 68.8%と最も高く、次いで「友人、親戚から」が 26.8%、「広報誌」が 10.8%の順となっている。

**問 9**

ひとり親世帯となってから生活が安定するまでどのくらいかかりましたか。

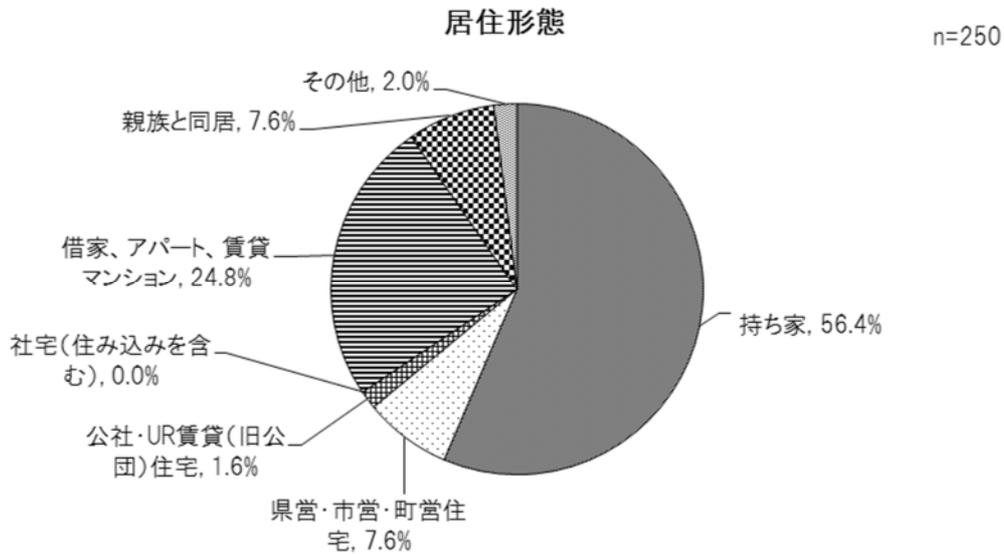
ひとり親世帯となってから生活が安定するまでにかかった期間は、「3年以上」と回答した人の割合が 34.7%と最も高く、次いで「6か月未満」が 22.3%、「1年以上2年未満」が 19.0%の順となっている。



(3) 住まいについて

問 17 あなたの住まいはどれですか。

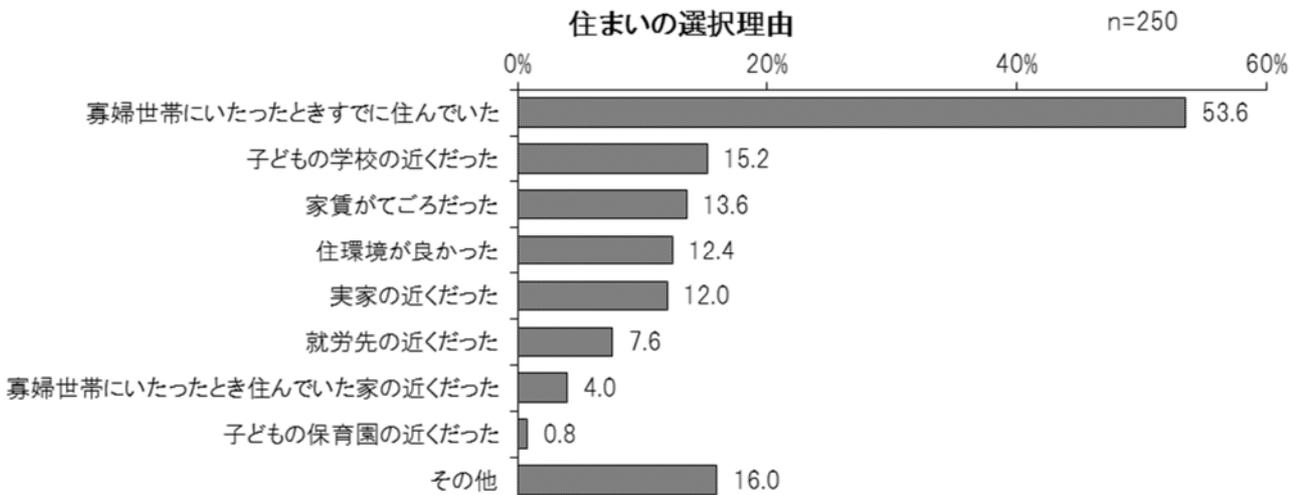
居住形態は、「持ち家」と回答した人の割合が 56.4%と最も高く、次いで「借家、アパート、賃貸マンション」が 24.8%、「県営・市営・町営住宅」、「親族と同居」がそれぞれ 7.6%の順となっている。



問 18

現在のお住まいを選択された理由について、主なものを3つ以内でお答えください。

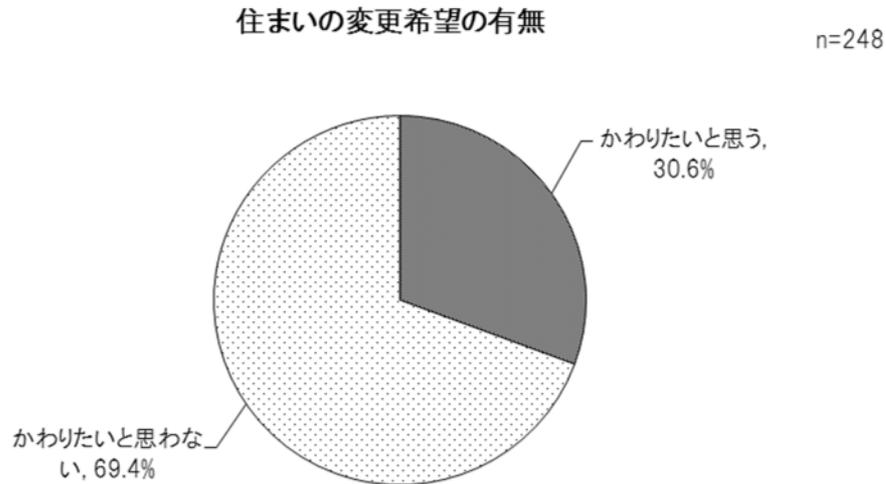
現在の住まいを選択した理由は、「寡婦世帯にいたったときすでに住んでいた」と回答した人の割合が 53.6%と最も高く、次いで「子どもの学校の近くだった」が 15.2%、「家賃がてごろだった」が 13.6%、「住環境が良かった」が 12.4%、「実家の近くだった」が 12.0%の順となっている。



問 19

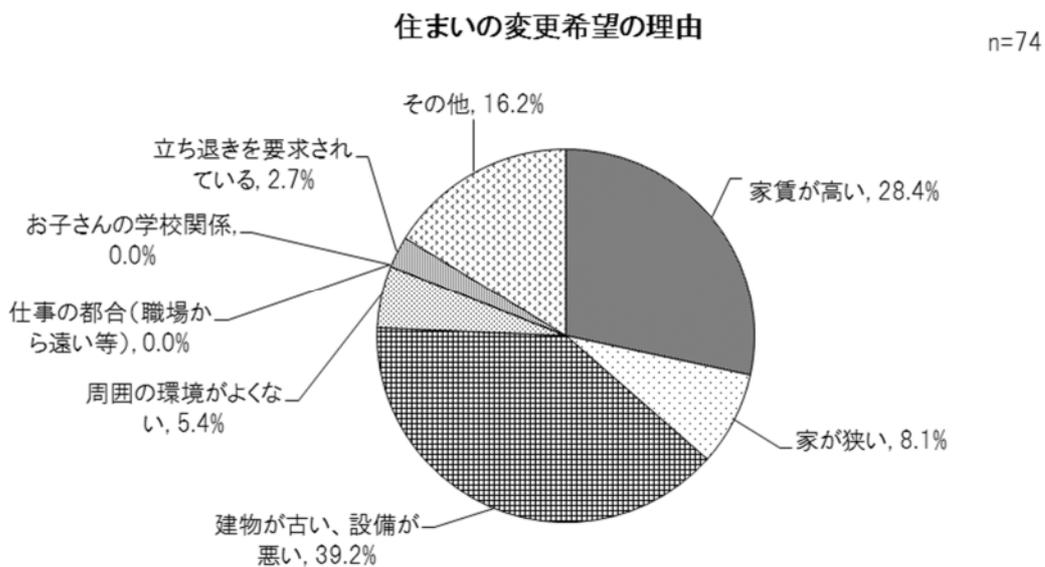
あなたは、現在のお住まいをかわりたいとお考えですか。

住まいの変更希望の有無は、「かわりたいと思う」と回答した人の割合が 30.6%となっている。一方で、「かわりたいと思わない」と回答した人の割合が 69.4%となっている。

**問 19-A**

「1 かわりたいと思う」とお答えになった方について、その理由は次のどれですか。主なものを1つお答えください。

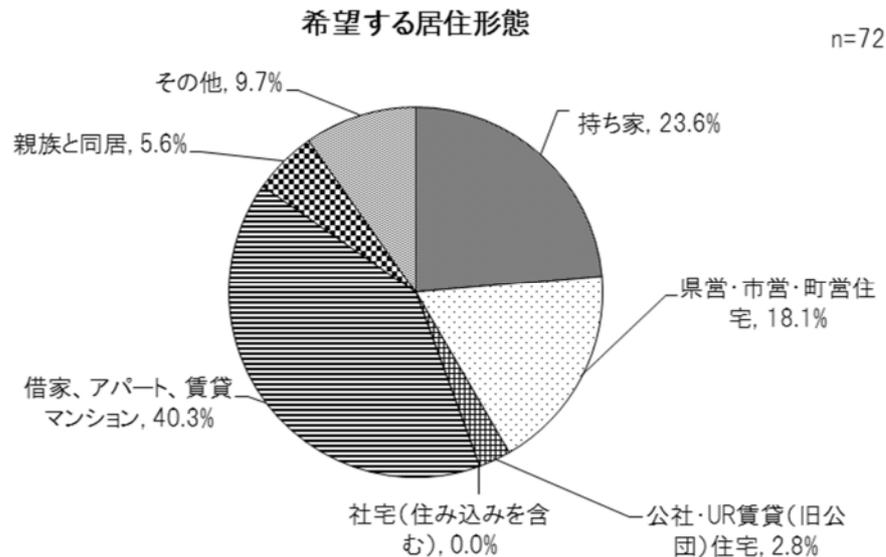
現在の住まいをかわりたいと思っている人の理由は、「建物が古い、設備が悪い」と回答した人の割合が 39.2%と最も高く、次いで「家賃が高い」が 28.4%、「家が狭い」が 8.1%の順となっている。



問 19-B

「1 かわりたいと思う」とお答えになった方について、どのようなところへかわりたいですか。1つお答えください。

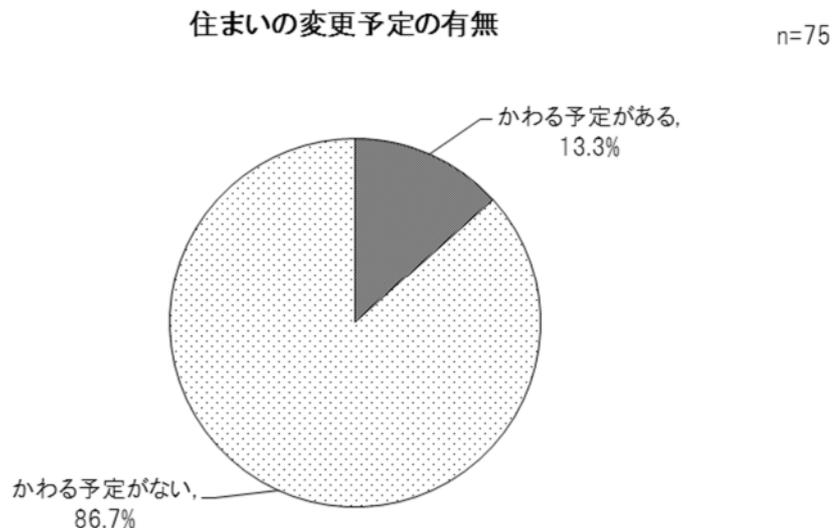
かわりたいと思う居住形態は、「借家、アパート、賃貸マンション」と回答した人の割合が403.0%と最も高く、次いで「持ち家」が23.6%、「県営・市営・町営住宅」が18.1%の順となっている。



問 19-C

「1 かわりたいと思う」とお答えになった方について、実際に、お住まいをかわる予定はありますか。

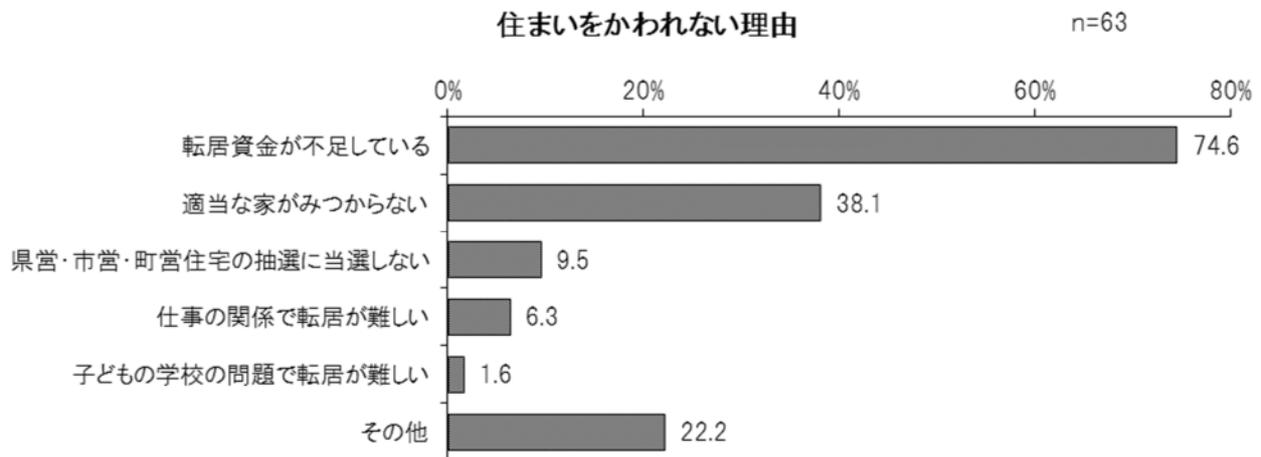
住まいの変更予定の有無は、「かわる予定がある」と回答した人の割合が13.3%となっている。一方で、「かわる予定がない」と回答した人の割合が86.7%となっている。



問 19-D

「2 かわる予定がない」とお答えになった方について、お住まいをかわれない理由はなんですか。主なものを2つ以内でお答えください。

住まいをかわれない理由は、「転居資金が不足している」と回答した人の割合が74.6%と最も高く、次いで「適当な家が見つからない」が38.1%、「県営・市営・町営住宅の抽選に当選しない」が9.5%の順となっている。

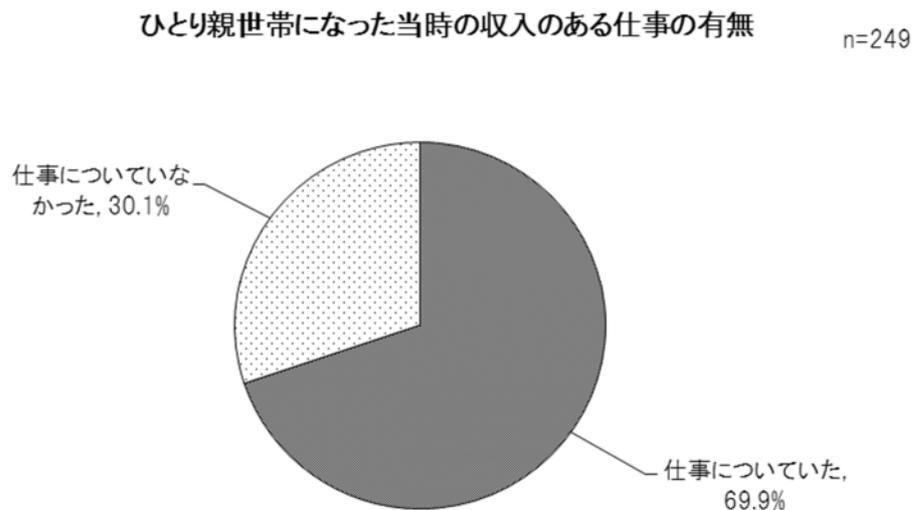


(4) 仕事について

問 20

ひとり親世帯になった時の状況についてお伺いします。
その直前まで、あなたは収入のある仕事についていましたか。

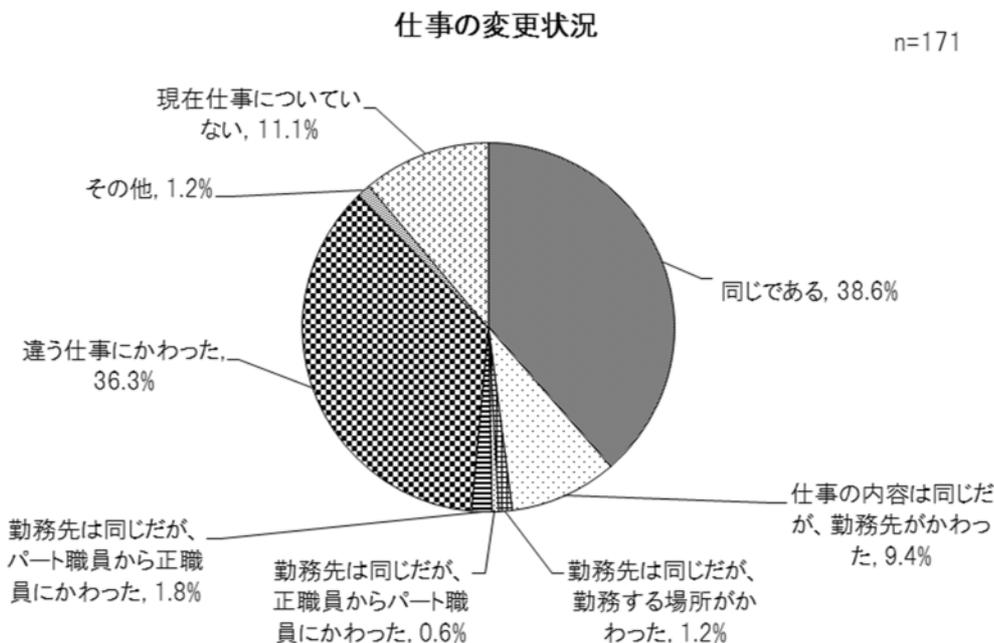
ひとり親世帯になった当時に、収入のある「仕事についていた」と回答した人の割合が69.9%となっている。一方で、「仕事についていなかった」と回答した人の割合が30.1%となっている。



問 20-A

「1 仕事についていた」とお答えになった方について、その仕事は、現在の仕事と同じですか。

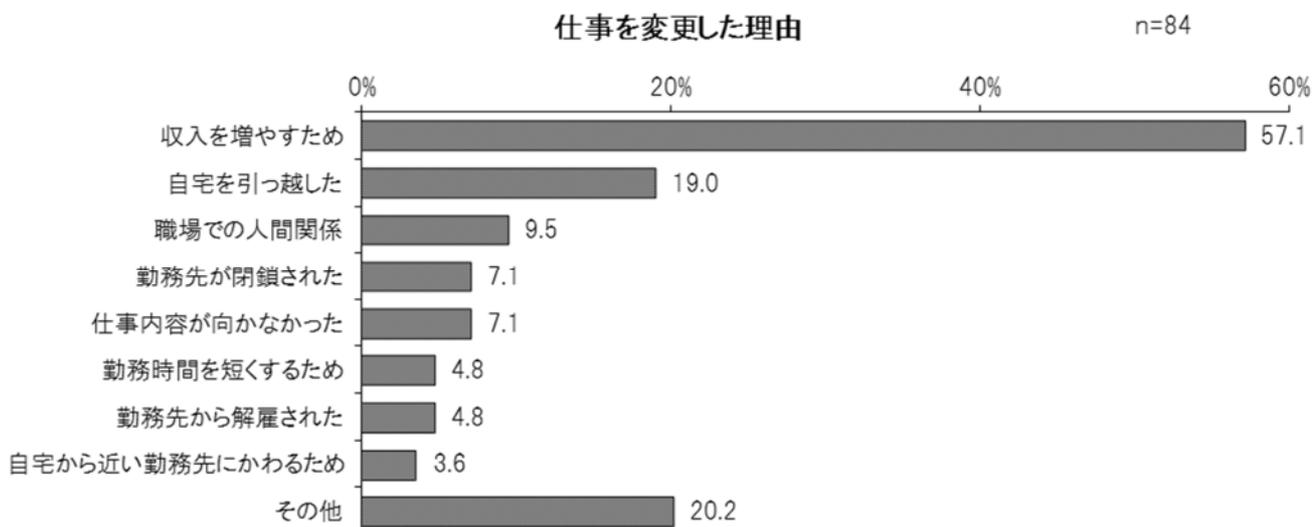
ひとり親世帯になった当時と現在の仕事は、「同じである」と回答した人の割合が 38.6%と最も高く、次いで「違う仕事にかわった」が 36.3%、「現在仕事についていない」が 11.1%の順となっている。



問 20-B

問 20-A で「2」～「7」のいずれかと答えられた方のみお答えください。仕事をかかわられた理由はなんですか。主なものを3つ以内でお答えください。

ひとり親世帯になって仕事をかかわった理由は、「収入を増やすため」と回答した人の割合が 57.1%と最も高く、次いで「自宅を引っ越した」が 19.0%、「職場での人間関係」が 9.5%、「勤務先が閉鎖された」、「仕事内容が向かなかった」がそれぞれ 7.1%の順となっている。



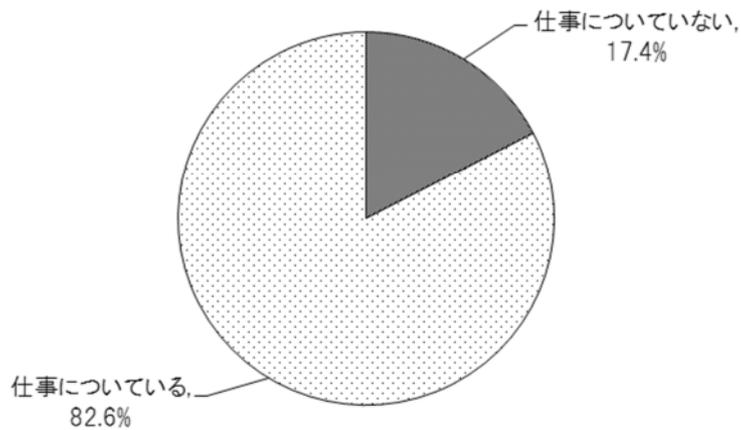
問 21

現在、あなたは収入のある仕事についていますか。

就業状況は、「仕事についている」と回答した人の割合が 82.6%となっている。一方で、「仕事についていない」と回答した人の割合が 17.4%となっている。

寡婦世帯の就業状況

n=253

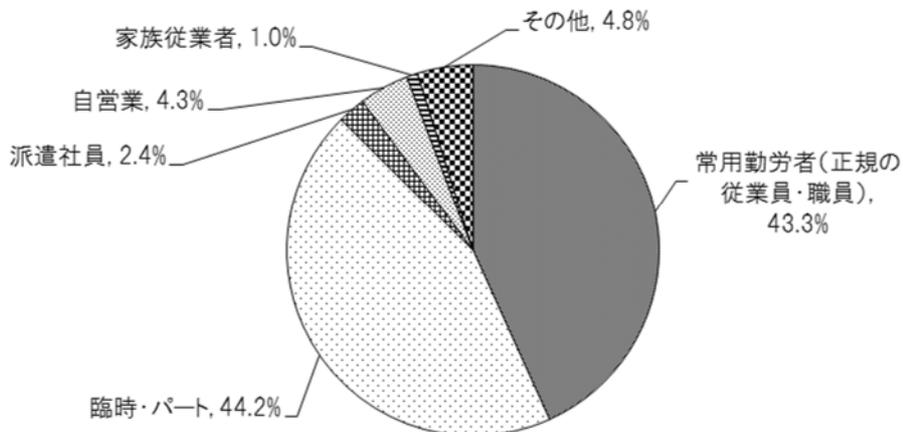
**問 22-A**

現在「2 仕事についている」とお答えになった方について、あなたの雇用形態は、どれにあたりますか。

仕事の雇用形態は、「臨時・パート」と回答した人の割合が 44.2%と最も高く、次いで、「常用勤労者（正規の従業員・職員）」が 43.3%、「自営業」が 4.3%の順となっている。

仕事の雇用形態

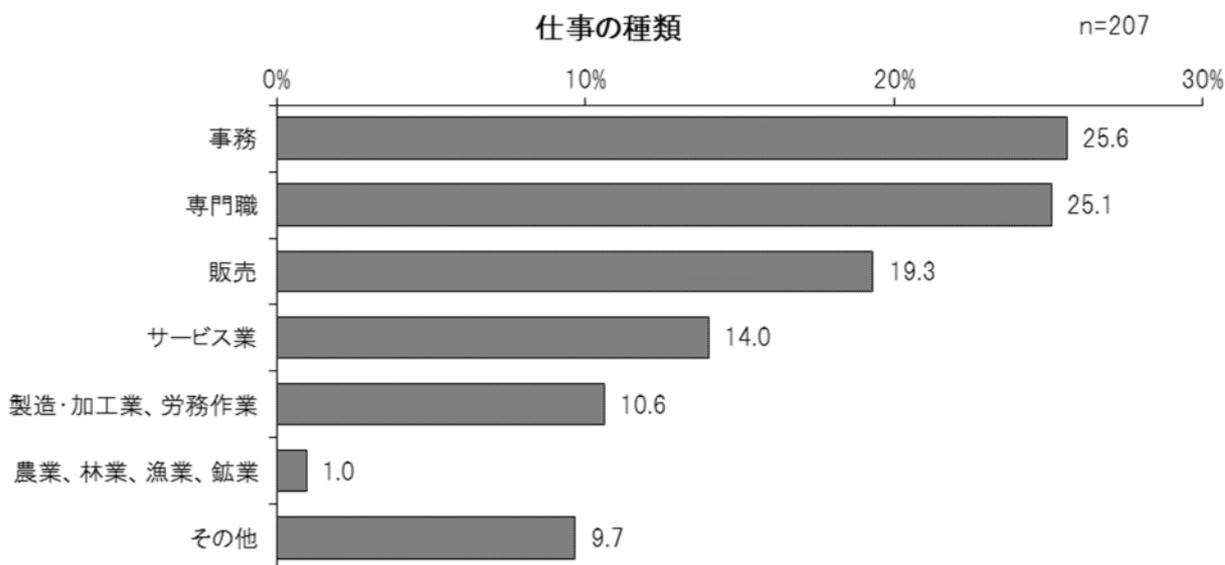
n=208



問 22-B

現在「2 仕事についている」とお答えになった方について、仕事の種類は、次のどれにあたりますか。

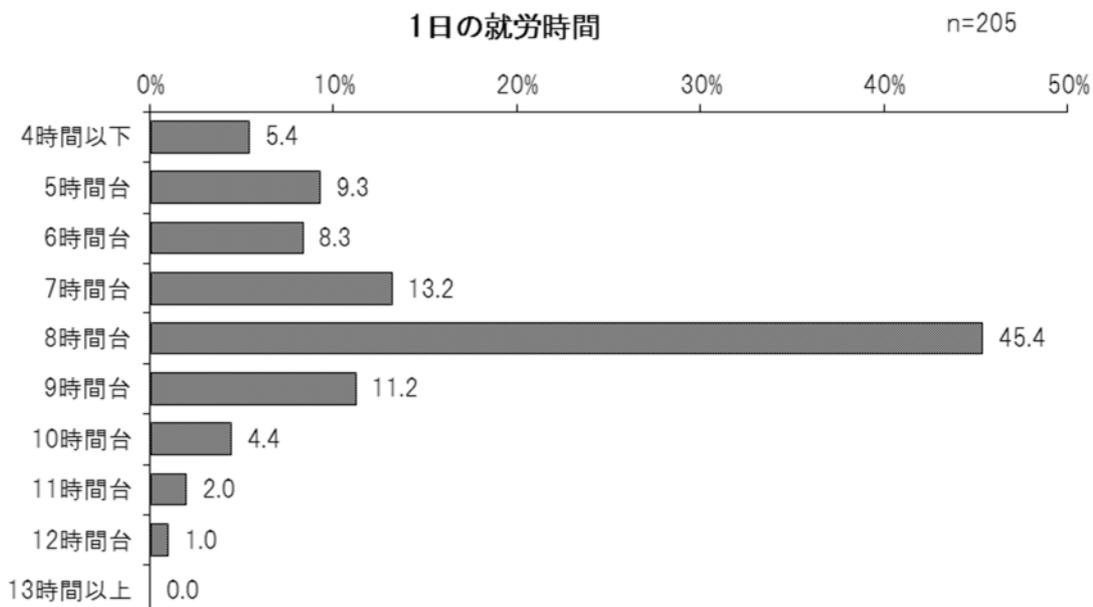
仕事の種類は、「事務」と回答した人の割合が 25.6%と最も高く、次いで「専門職」が 25.1%、「販売」が 19.3%、「サービス業」が 14.0%の順となっている。また、5.3%の人が複数の仕事をしている。



問 22-C

現在「2 仕事についている」とお答えになった方について、1日の就労時間はどのくらいですか。
(複数の仕事をしている場合は1日の平均合計時間をお答えください)

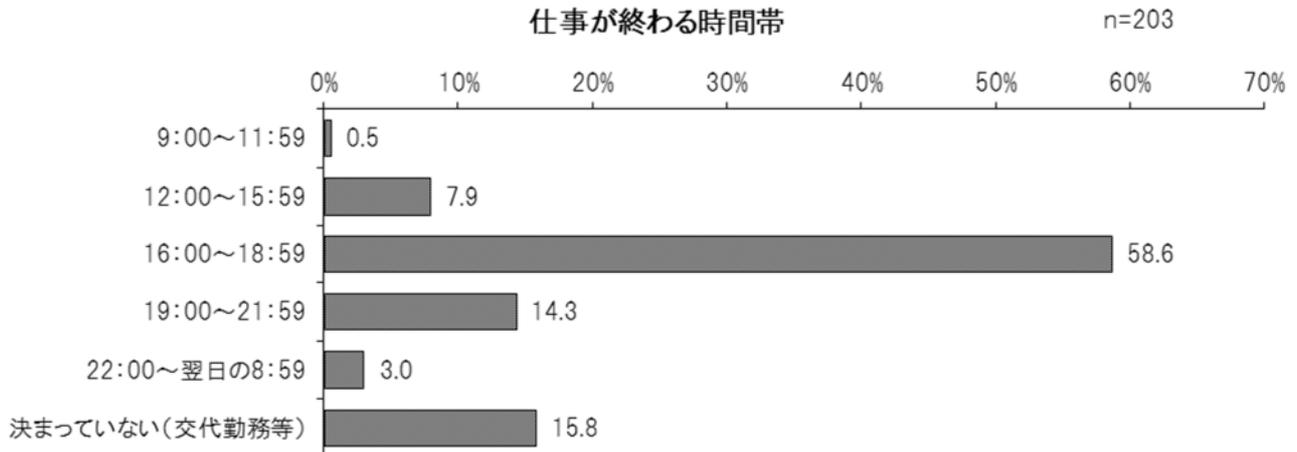
1日の就労時間は、「8時間台」と回答した人の割合が 45.4%と最も高く、次いで「7時間台」が 13.2%、「9時間台」が 11.2%の順となっている。



問 22-D

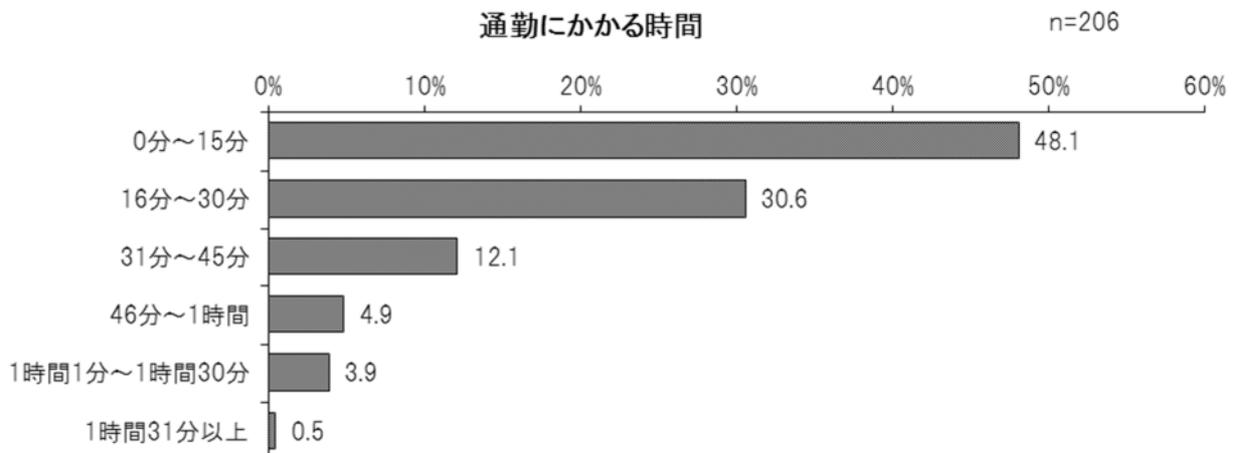
現在「2 仕事についている」とお答えになった方について、ふだん仕事が終わる時間は次のどれにあたりますか。
 (複数の仕事をしている場合は遅い方の終了時間をお答えください)

1日の仕事が終わる時間帯は、「16:00~18:59」と回答した人の割合が58.6%と最も高く、次いで「決まっていない(交代勤務等)」が15.8%、「19:00~21:59」が14.3%の順となっている。

**問 22-E**

現在「2 仕事についている」とお答えになった方について、通勤にかかる時間はどの程度ですか。
 (複数の仕事をしている場合は合計の通勤時間をお答えください)

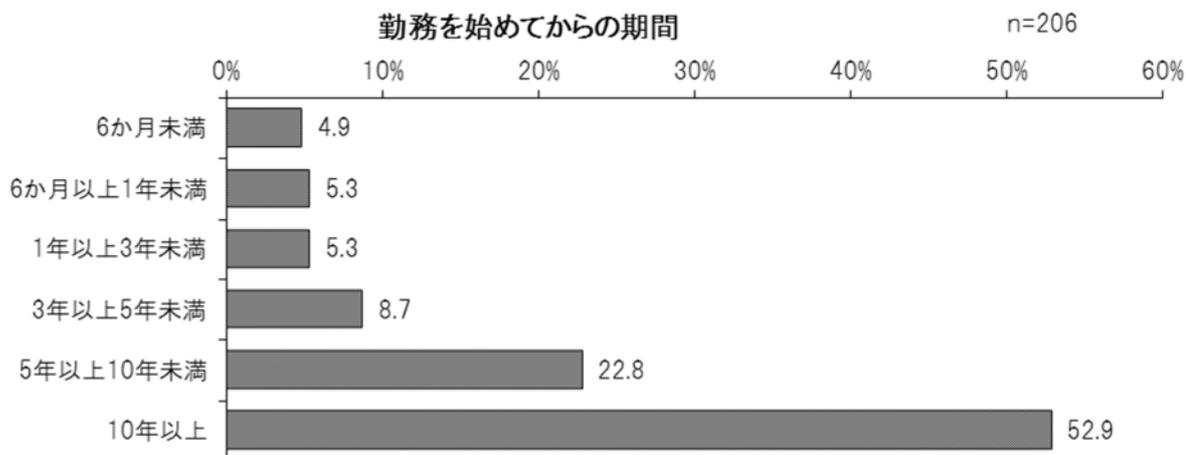
通勤にかかる時間は、「0分~15分」と回答した人の割合が48.1%と最も高く、次いで「16分~30分」が30.6%、「31分~45分」が12.1%、「46分~1時間」が4.9%の順となっている。



問 22-F

現在「2 仕事についている」とお答えになった方について、勤務を始めてからの期間はどの程度ですか。
 (複数の仕事をしている場合は最も収入の多いものについてお答えください)

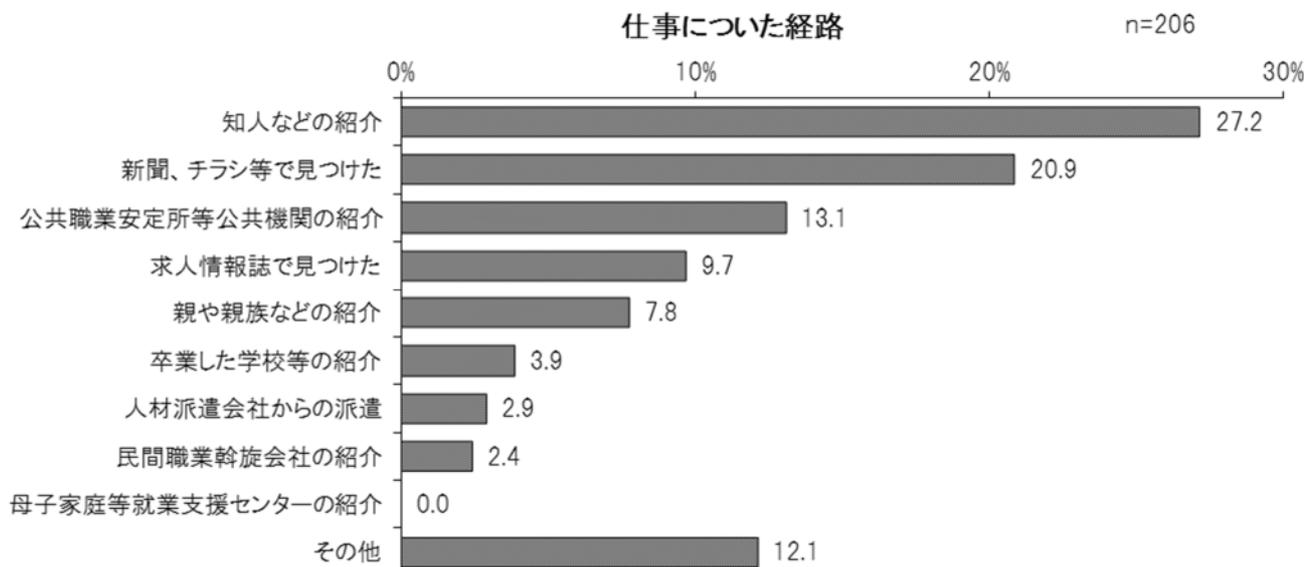
勤務を始めてからの期間は、「10 年以上」と回答した人の割合が 52.9%と最も高く、次いで「5 年以上 10 年未満」が 22.8%、「3 年以上 5 年未満」が 8.7%の順となっている。



問 22-G

現在「2 仕事についている」とお答えになった方について、その仕事についての経路はどのようなものですか。
 (複数の仕事をしている場合は最も収入の多いものについてお答えください)

仕事についての経路は、「知人などの紹介」と回答した人の割合が 27.2%と最も高く、次いで「新聞、チラシ等で見つけた」が 20.9%、「公共職業安定所等公共機関の紹介」が 13.1%、「求人情報誌で見つけた」が 9.7%の順となっている。



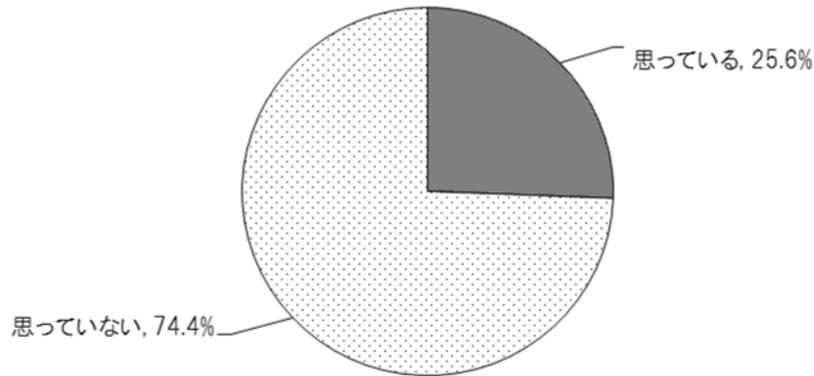
問 23

あなたは現在の仕事をかわりたいと思っていますか。

転職希望の有無は、仕事をかわりたいと「思っている」と回答した人の割合が 25.6%となっている。一方で、仕事をかわりたいと「思っていない」と回答した人の割合が 74.4%となっている。

転職希望の有無

n=203

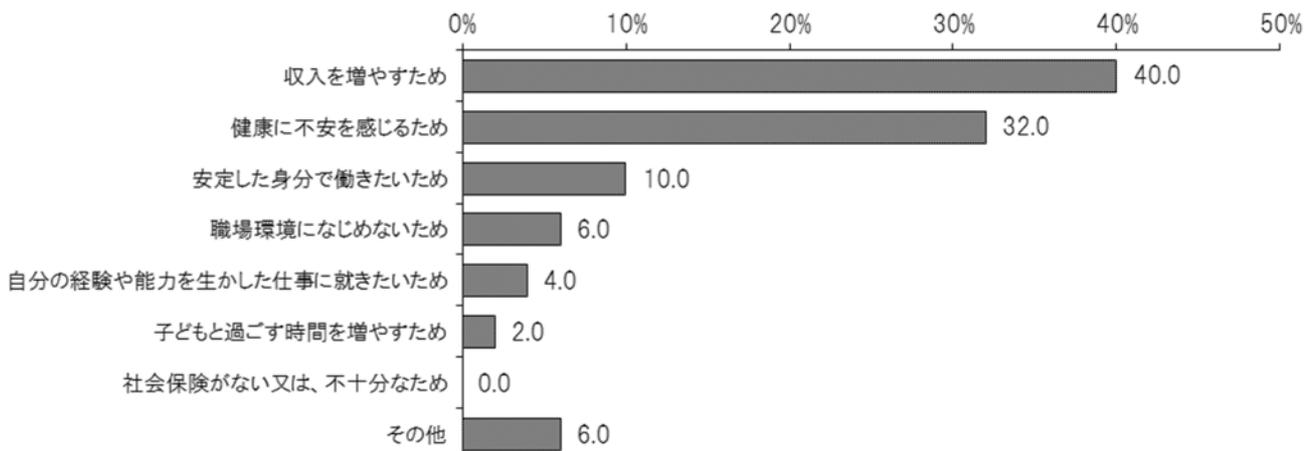
**問 23-A**

「1 思っている」と答えられた方について、主な理由を1つお答えください。

仕事をかわりたい理由は、「収入を増やすため」と回答した人の割合が 40.0%と最も高く、次いで「健康に不安を感じるため」が 32.0%、「安定した身分で働きたいため」が 10.0%の順となっている。

仕事をかわりたい理由

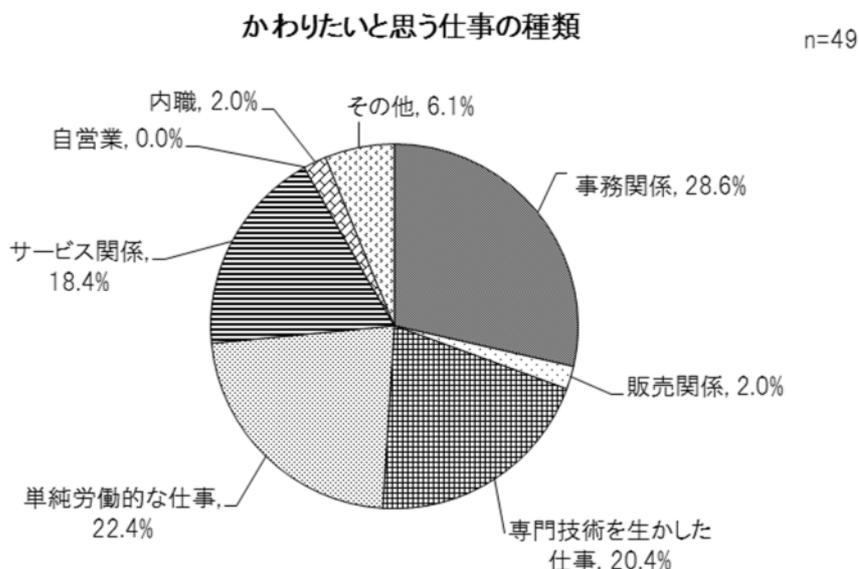
n=50



問 23-B

「1 思っている」と答えられた方について、かわりたいと思う仕事を1つお選びください。

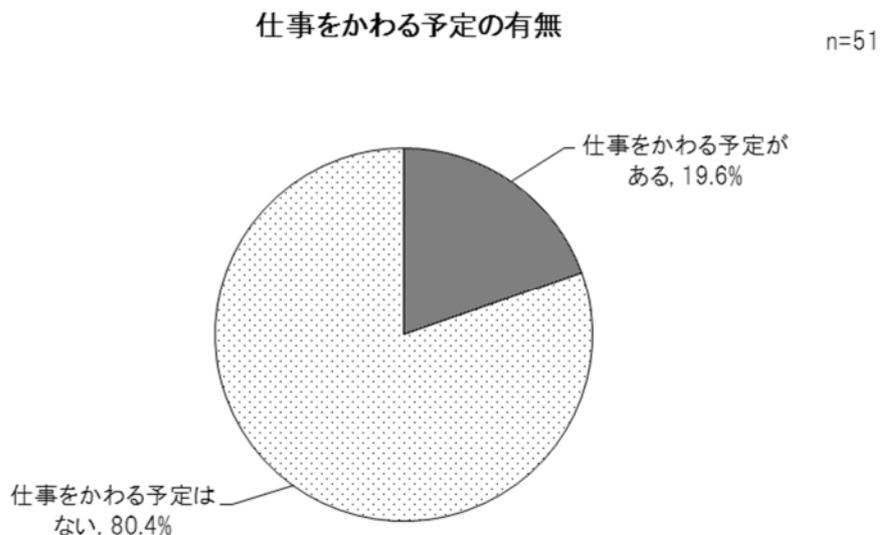
かわりたいと思う仕事の種類は、「事務関係」と回答した人の割合が28.6%と最も高く、次いで「単純労働的な仕事」が22.4%、「専門技術を生かした仕事」が20.4%の順となっている。



問 23-C

「1 思っている」と答えられた方について、実際に、仕事をかわる予定はありますか。

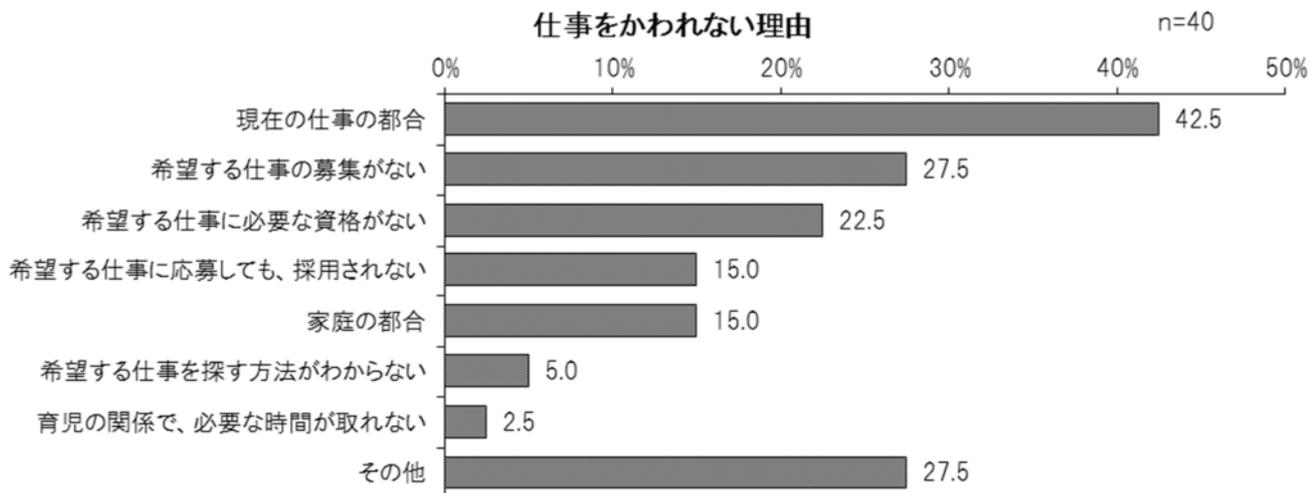
仕事をかわる予定の有無は、「仕事をかわる予定がある」と回答した人の割合が19.6%となっている。一方で、「仕事をかわる予定はない」と回答した人の割合が80.4%となっている。



問 23-D

問 23-C で「2 仕事をかわる予定はない」とお答えになったかたについて、仕事をかわれない理由はなんですか。主なものから2つ以内でお答えください。

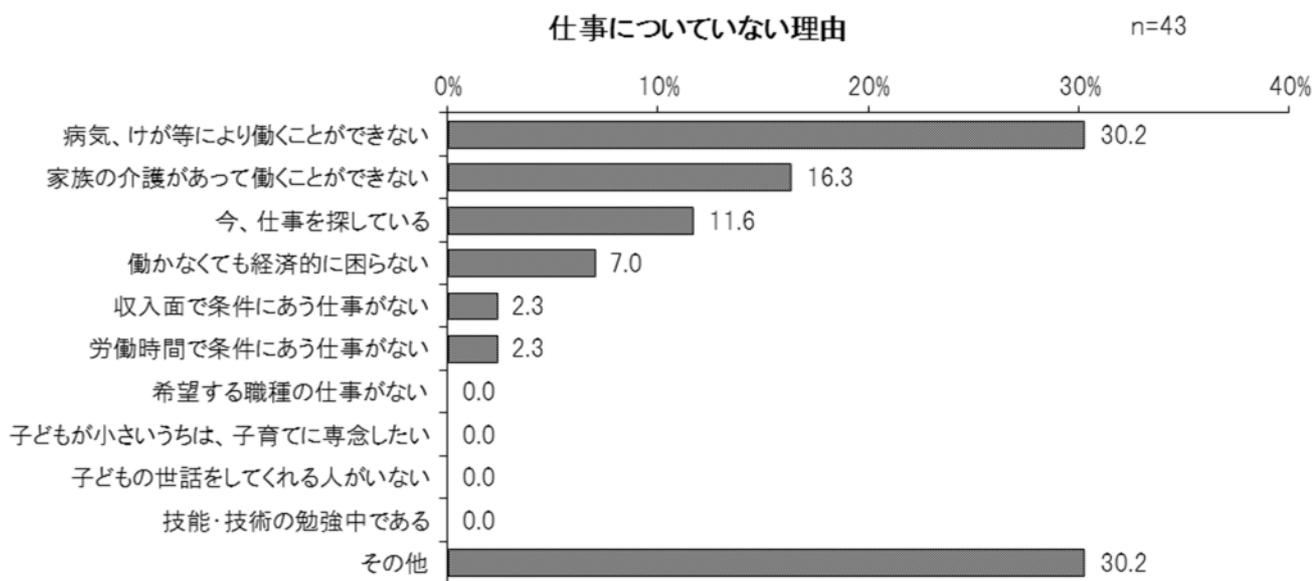
仕事をかわれない理由は、「現在の仕事の都合」と回答した人の割合が 42.5%と最も高く、次いで、「希望する仕事の募集がない」が 27.5%、「希望する仕事に必要な資格がない」が 22.5%の順となっている。



問 24-A

問 21 で現在「1 仕事についていない」と答えられた方のみお答えください。仕事についていない主な理由はなんですか。1つお答えください。

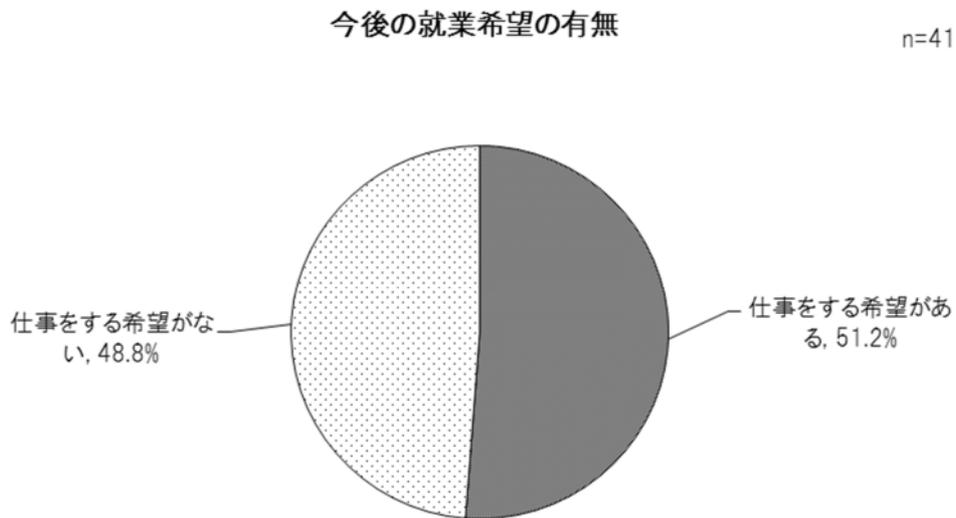
仕事についていない理由は、「病気、けが等により働くことができない」と回答した人の割合が 30.2%と最も高く、次いで「家族の介護があつて働くことができない」が 16.3%、「今、仕事を探している」が 11.6%、「働かなくても経済的に困らない」が 7.0%の順となっている。



問 24-B

問 21 で現在「1 仕事についていない」と答えられた方のみお答えください。
今後、仕事をする希望がありますか。

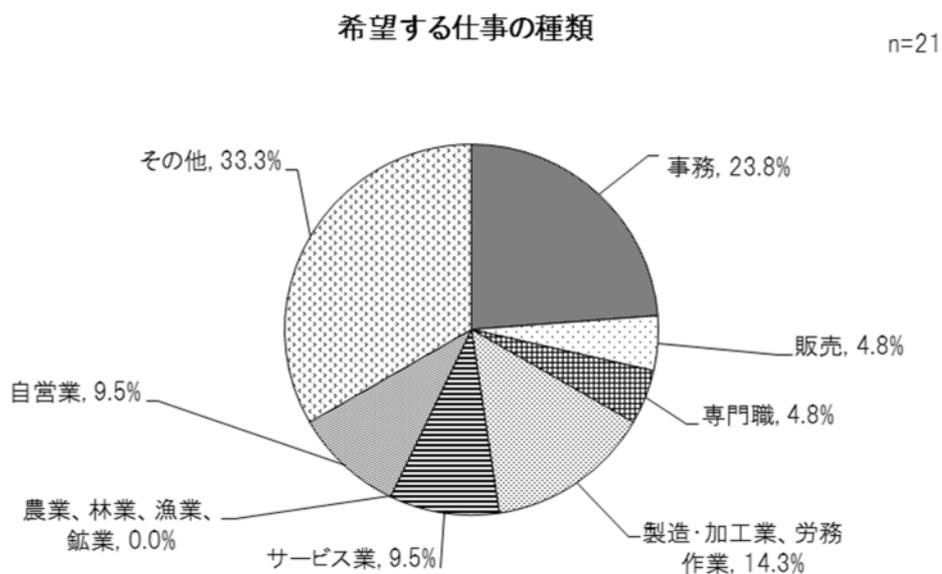
現在、仕事についていない人で、今後の就業希望の有無は、「仕事をする希望がある」と回答した人の割合が 51.2%となっている。一方で、「仕事をする希望がない」と回答した人の割合が 48.8%となっている。



問 24-C

前問で「1 仕事をする希望がある」とお答えになった方について、どのような仕事を希望しますか。

希望する仕事の種類は、「事務」と回答した人の割合が 23.8%と最も高く、次いで「製造・加工業、労務作業」が 14.3%、「サービス業」、「自営業」がそれぞれ 9.5%の順となっている。

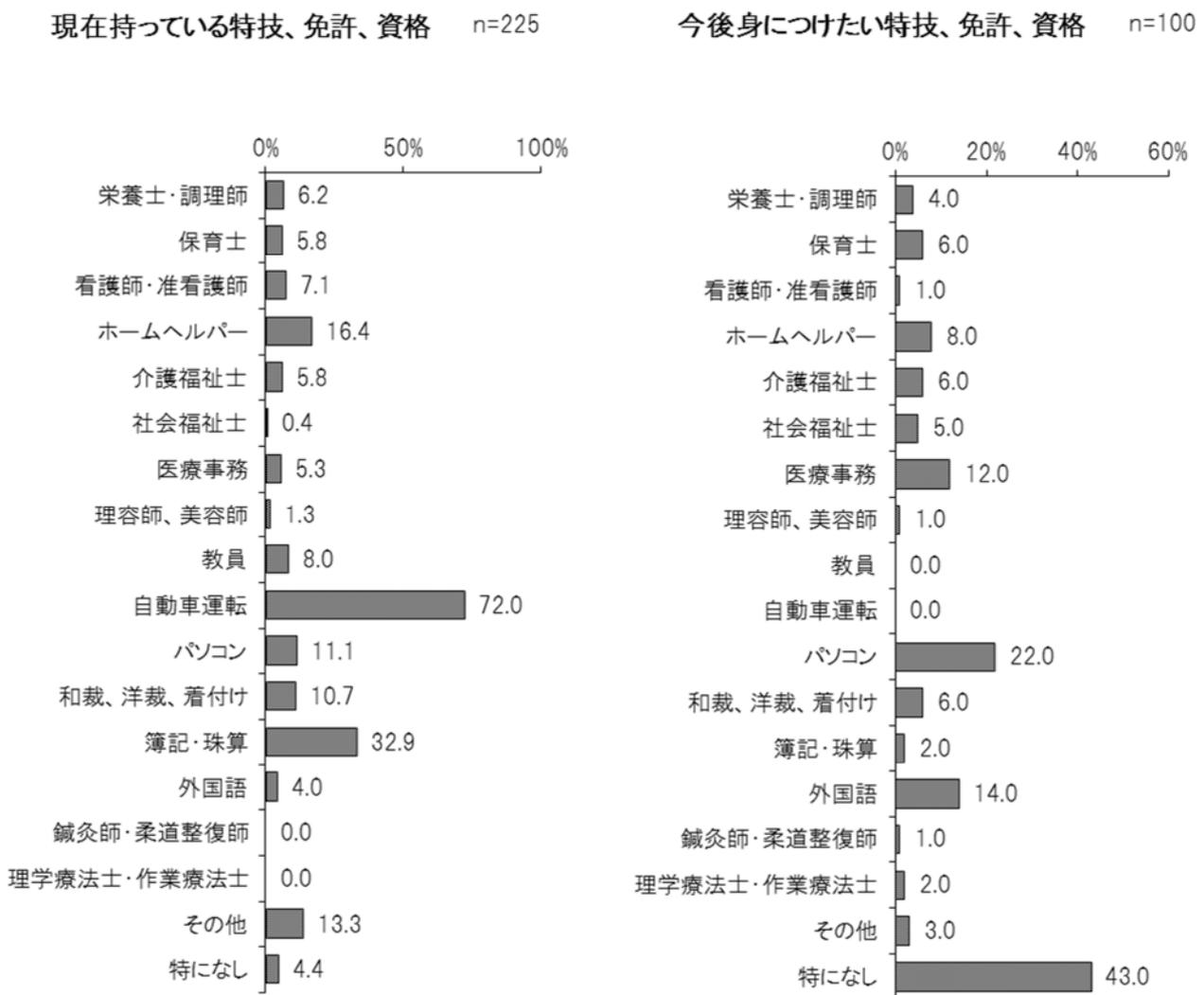


問 25

あなたは、特技、免許、資格などをお持ちですか。現在お持ちのものすべてについて下のA欄の番号を○で囲んでください。また、今後仕事のために身につけたい特技、免許、資格などがありましたら、そのすべてについて、下のB欄の番号を○で囲んでください。

現在、持っている特技、免許、資格は、「自動車運転」と回答した人の割合が72.0%と最も高く、次いで「簿記・珠算」が32.9%、「ホームヘルパー」が16.4%の順となっている。

また、今後、身につけたい特技、免許、資格は、「パソコン」と回答した人の割合が22.0%と最も高く、次いで「外国語」が14.0%、「医療事務」が12.0%の順となっている。一方で、「特になし」と回答した人の割合が43.0%となっている。



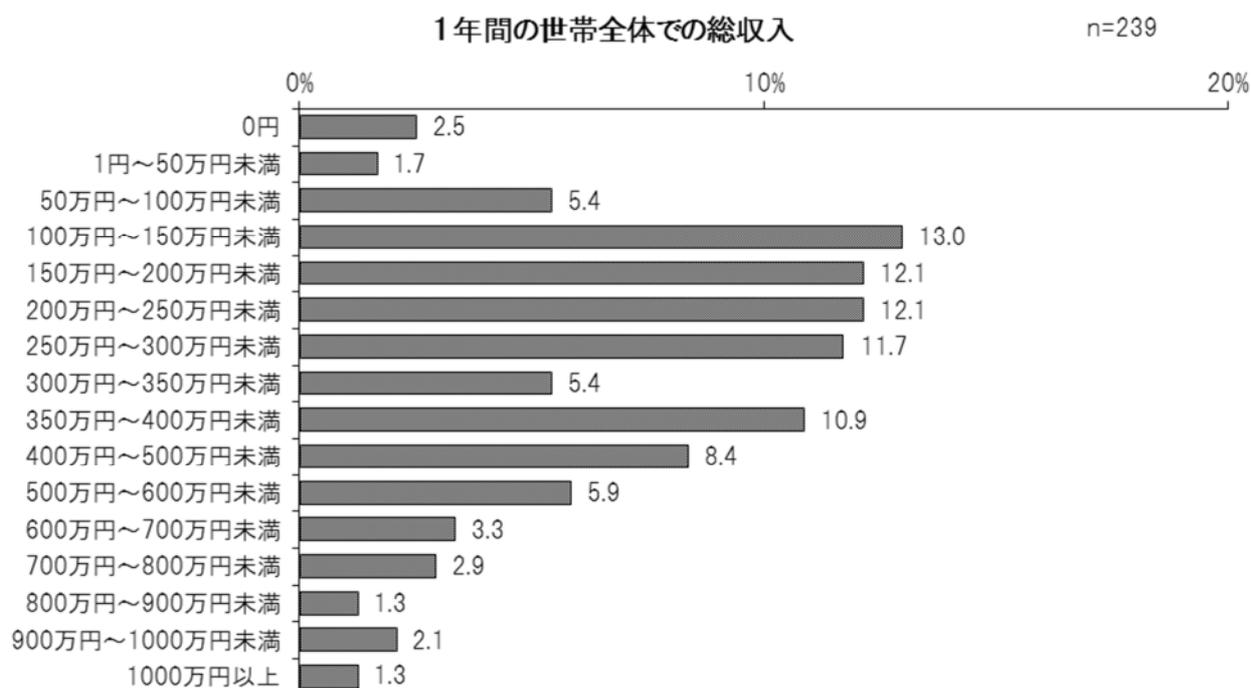
(5) 家計について

問 26

年収について（総収入）

あなたの世帯の平成28年1月1日から平成28年12月31日までの1年間の総収入額（見込）はいくらですか。次ページの表から選択してください。

平成28年のボーナスを含む年間総収入は、「100万円～150万円未満」と回答した人の割合が13.0%と最も高く、次いで「150万円～200万円未満」、「200万円～250万円未満」がそれぞれ12.1%の順となっている。また、世帯の平均総収入は316.6万円となっている。

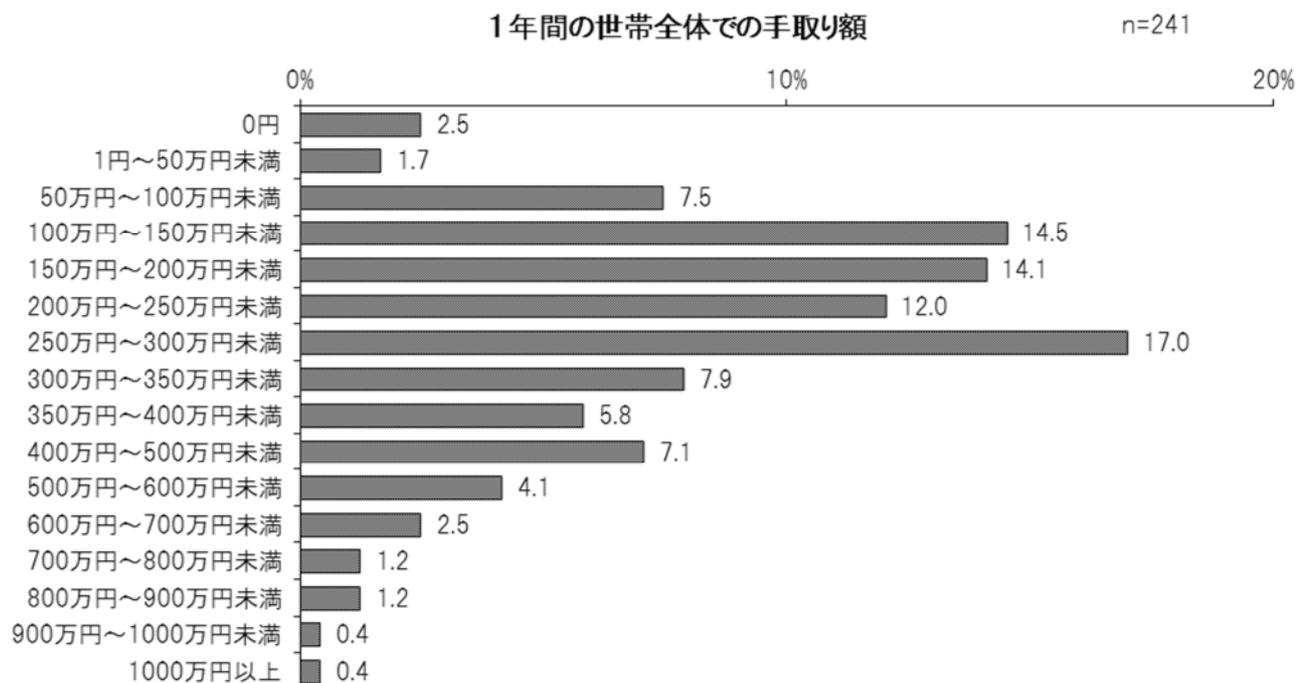


年収について（手取り額）

問 27

あなたの世帯の平成28年1月1日から平成28年12月31日までの1年間の手取り額（見込）はいくらですか。次ページの表から選択してください。

平成28年のボーナスを含む年間手取り額は、「250万円～300万円未満」と回答した人の割合が17.0%と最も高く、次いで「100万円～150万円未満」が14.5%、「150万円～200万円未満」が14.1%の順となっている。また、世帯の平均手取り額は268.9万円となっている。



月収について

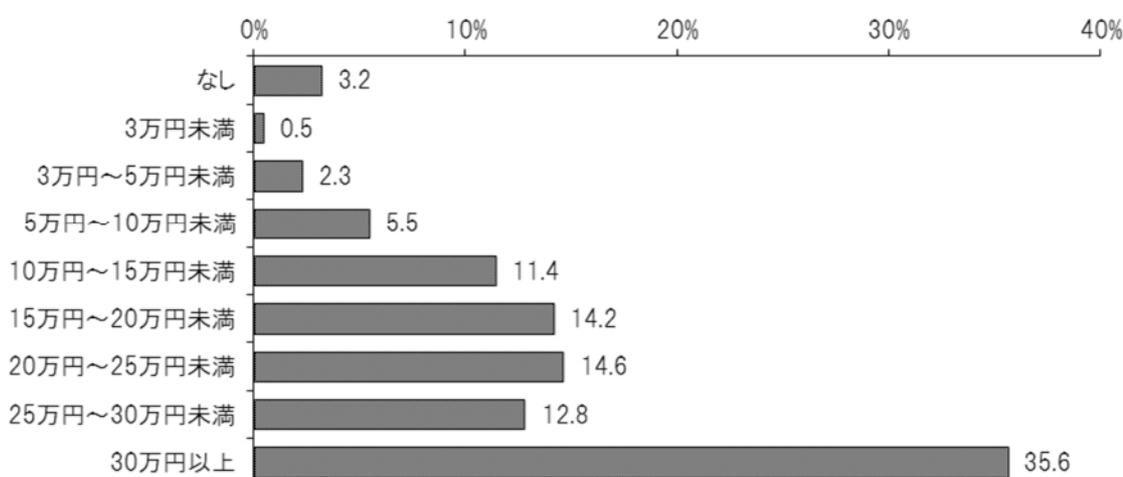
問 28

現在あなたの世帯では、1か月平均いくら収入がありますか。
また、ア～サの内訳についてはどうですか。それぞれ次ページの表から該当する番号を選び、その番号を口内に記入してください。該当する収入がない場合は「1」を記入してください。

世帯全体の1か月の平均収入は、「30万円以上」と回答した人の割合が35.6%と最も高く、次いで「20万円～25万円未満」が14.6%、「15万円～20万円未満」が14.2%の順となっている。また、世帯の1か月の収入の内訳をみると、「あなたの勤労収入」と回答した人の割合が79.8%と最も高く、次いで「あなた以外の世帯員の勤労収入合計」が61.4%、「あなたが受給している年金」が27.0%の順となっている。

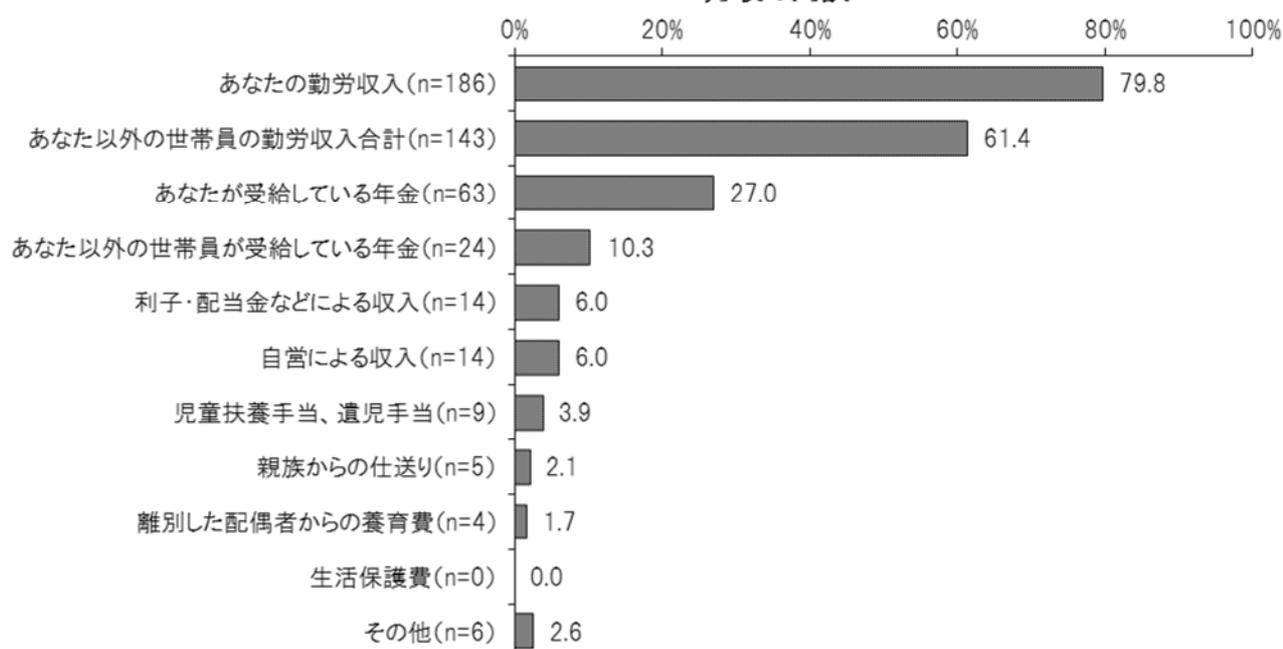
世帯全体の1か月の平均収入

n=219



月収の内訳

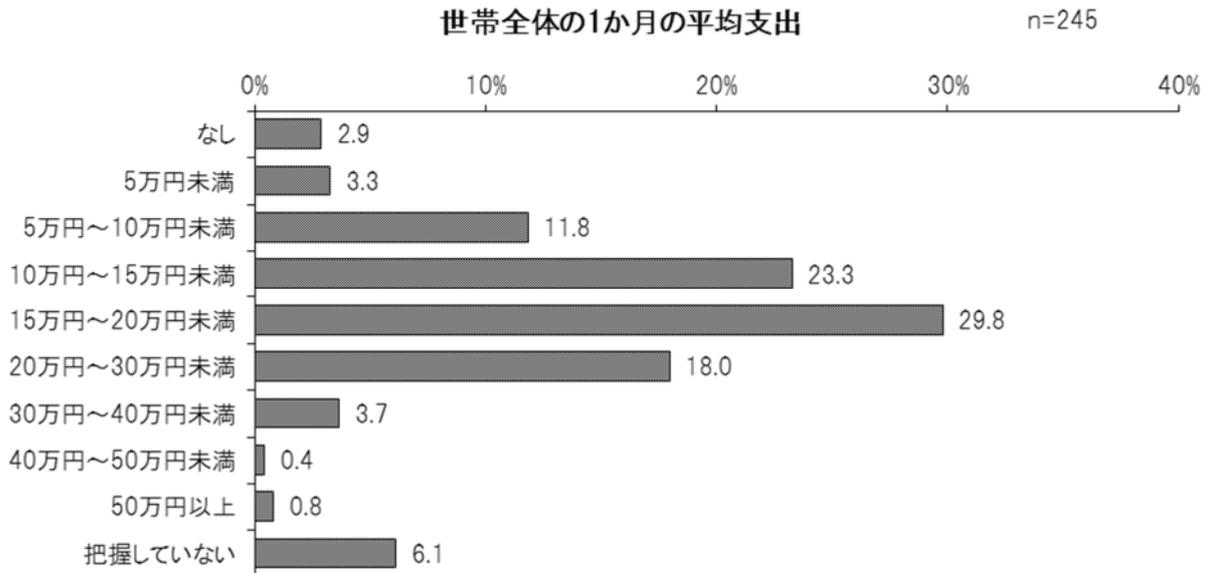
n=233



問 29-A

世帯の家計支出についてお伺いします。
 あなたのご家庭の1か月の平均的な支出（住宅ローン等の借金返済含む・税額等は含まない）はどれくらいですか。

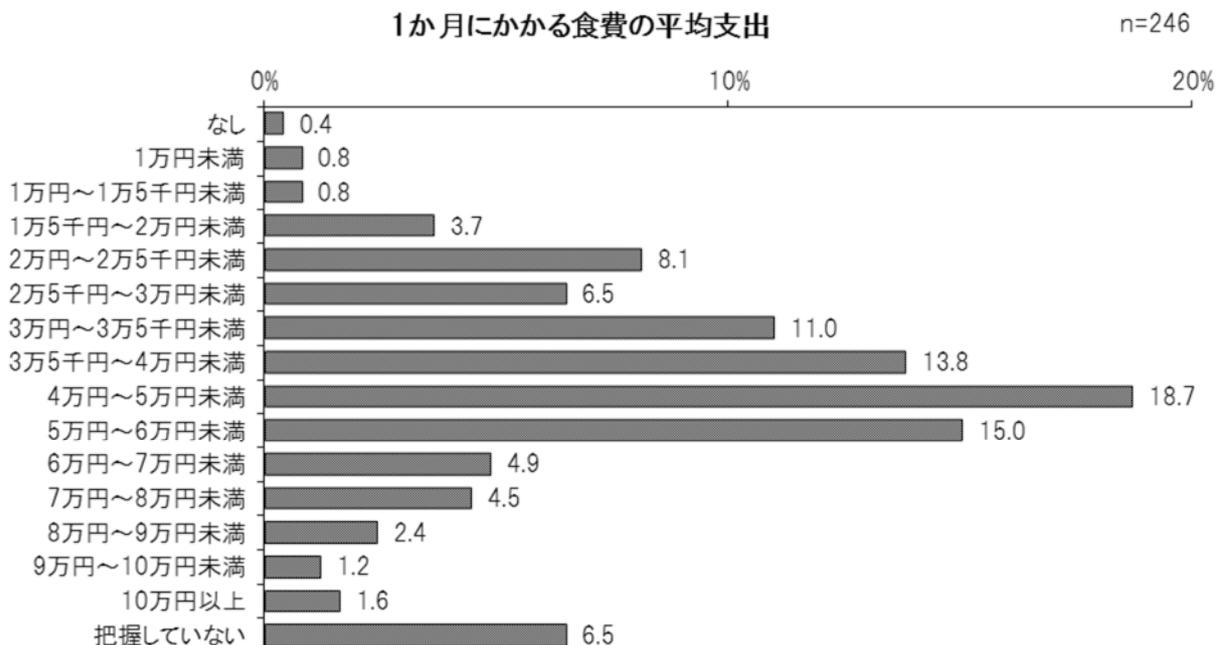
世帯全体の1か月の平均支出は、「15万円～20万円未満」と回答した人の割合が29.8%と最も高く、次いで「10万円～15万円未満」が23.3%、「20万円～30万円未満」が18.0%の順となっている。



問 29-B

世帯の家計支出についてお伺いします。
 あなたのご家庭の1か月の食費についての平均的な支出はどれくらいですか。

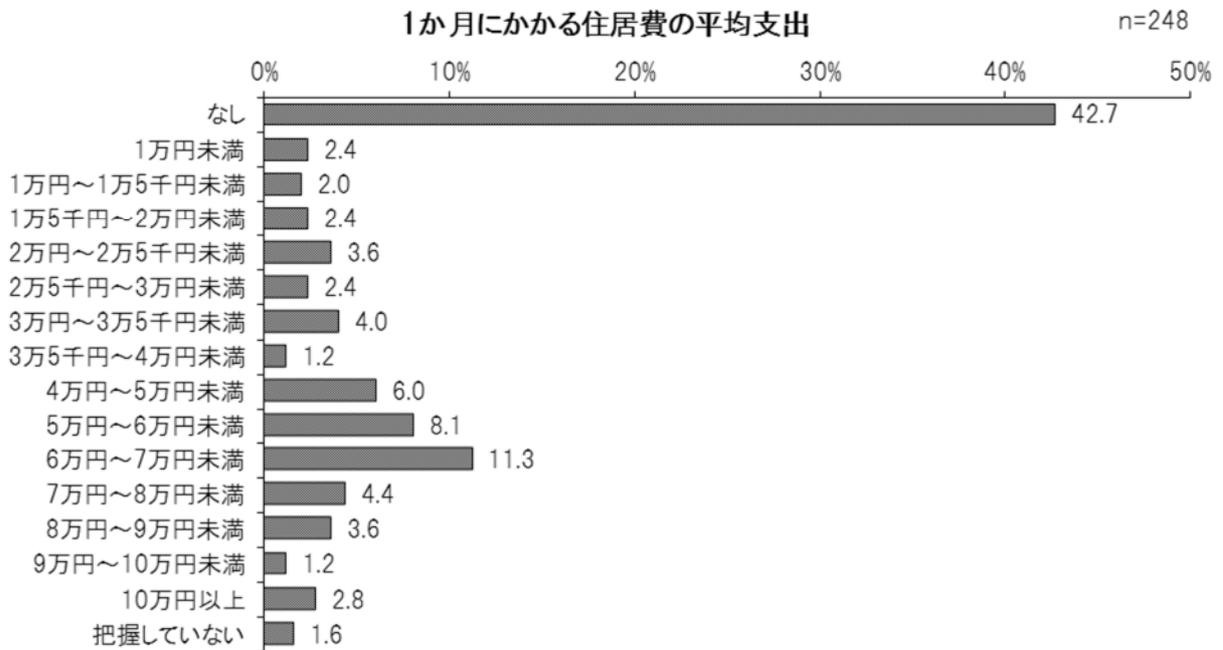
1か月にかかる食費の平均支出は、「4万円～5万円未満」と回答した人の割合が18.7%と最も高く、次いで「5万円～6万円未満」が15.0%、「3万5千円～4万円未満」が13.8%の順となっている。



問 29-C

世帯の家計支出についてお伺いします。
 あなたのご家庭の1か月の住居費（家賃・住宅ローン）についての平均的な支出はどれくらいですか。

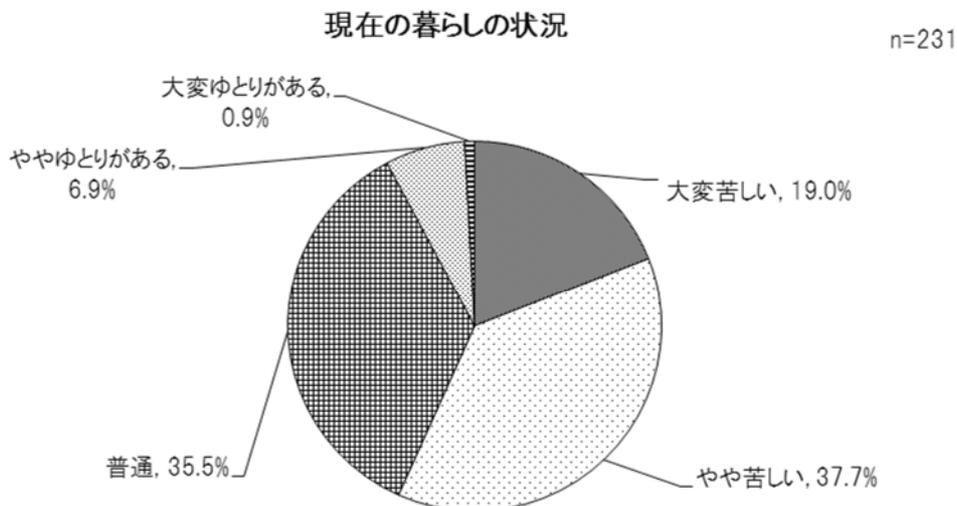
1か月にかかる住居費の平均支出は、「なし」と回答した人の割合が42.7%と最も高く、次いで「6万円～7万円未満」が11.3%、「5万円～6万円未満」が8.1%の順となっている。



問 30

あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

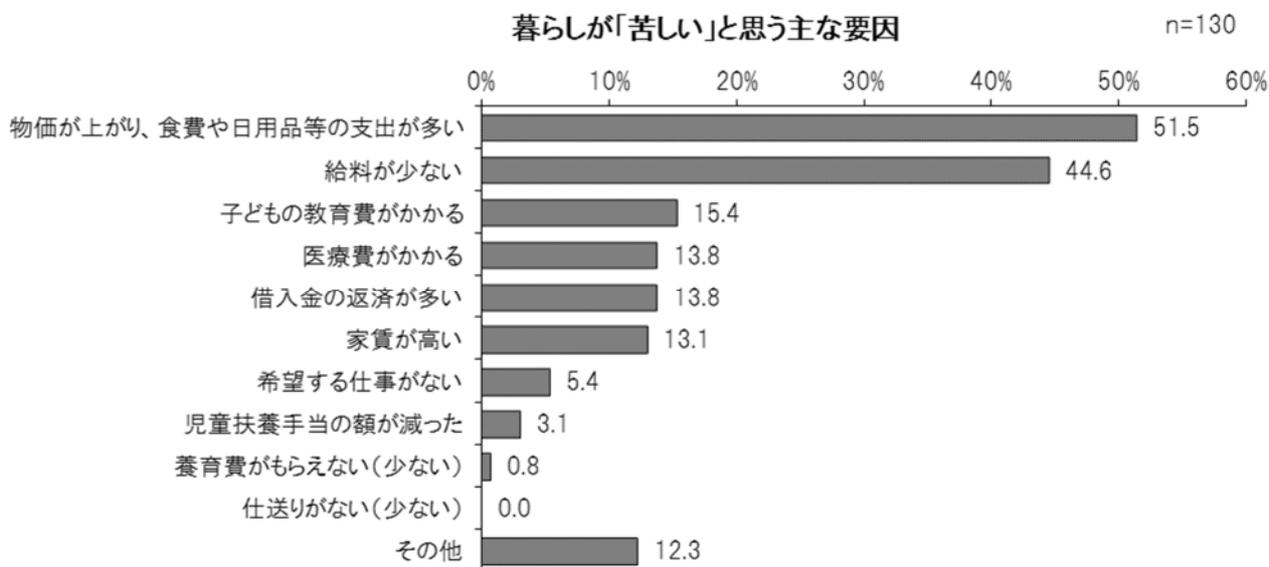
現在の暮らしの状況は、「やや苦しい」と回答した人の割合が37.7%と最も高く、次いで「普通」が35.5%、「大変苦しい」が19.0%の順となっている。また、「苦しい（大変苦しい+やや苦しい）」と回答した人の割合が56.7%となっている。



問 30-1

「1 大変苦しい 2 やや苦しい」とお答えになった方にお尋ねします。その主な要因は、何だとお考えですか。該当する要因を2つ以内でお答えください。

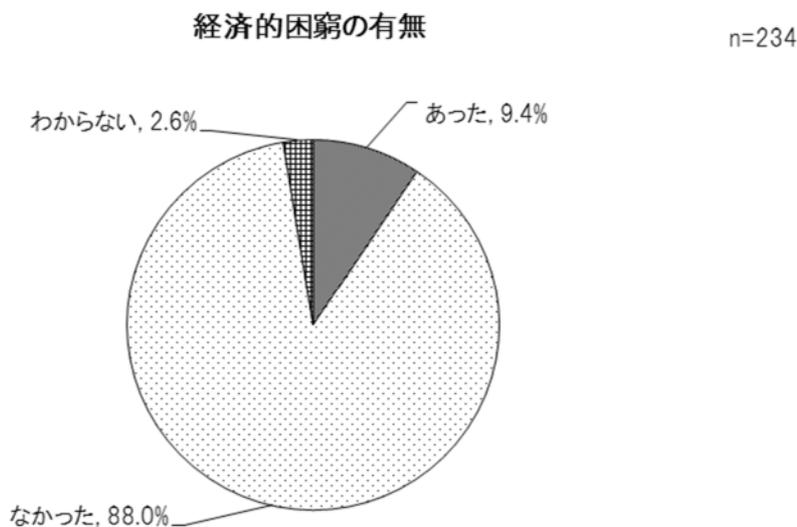
現在の暮らしが「苦しい（大変苦しい+やや苦しい）」と思う主な要因は、「物価が上がり、食費や日用品等の支出が多い」と回答した人の割合が51.5%と最も高く、次いで「給料が少ない」が44.6%、「子どもの教育費がかかる」が15.4%の順となっている。



問 31

あなたのご家庭では、お子さんが生まれてから現在までの間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道のいずれかを止められたことがありましたか。

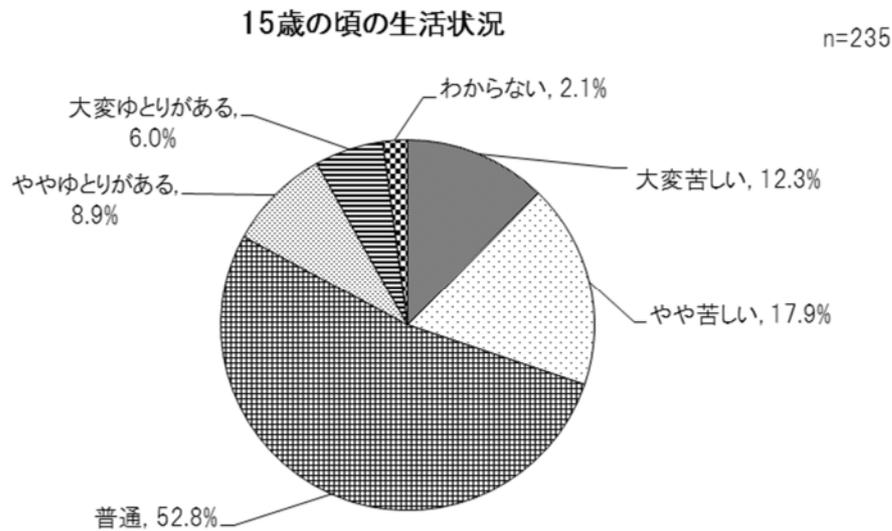
経済的困窮により、電気、水道、ガスのいずれかを止められた経験が、「あった」と回答した人の割合が9.4%となっている。一方で、「なかった」と回答した人の割合が88.0%となっている。



問 32

あなたが 15 歳の頃のご家庭の暮らし向きはどうだったと感じますか。

寡婦が 15 歳の頃の生活状況は、「普通」と回答した人の割合が 52.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 17.9%、「大変苦しい」が 12.3%の順となっている。

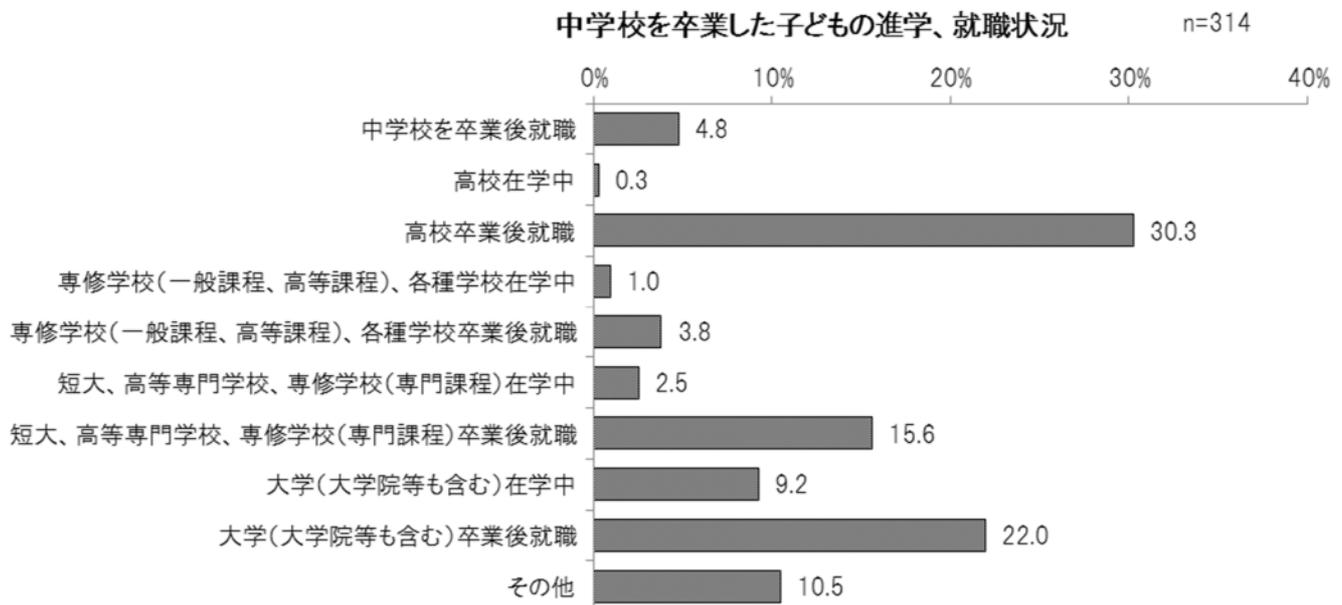


(6) お子さんについて

問 40

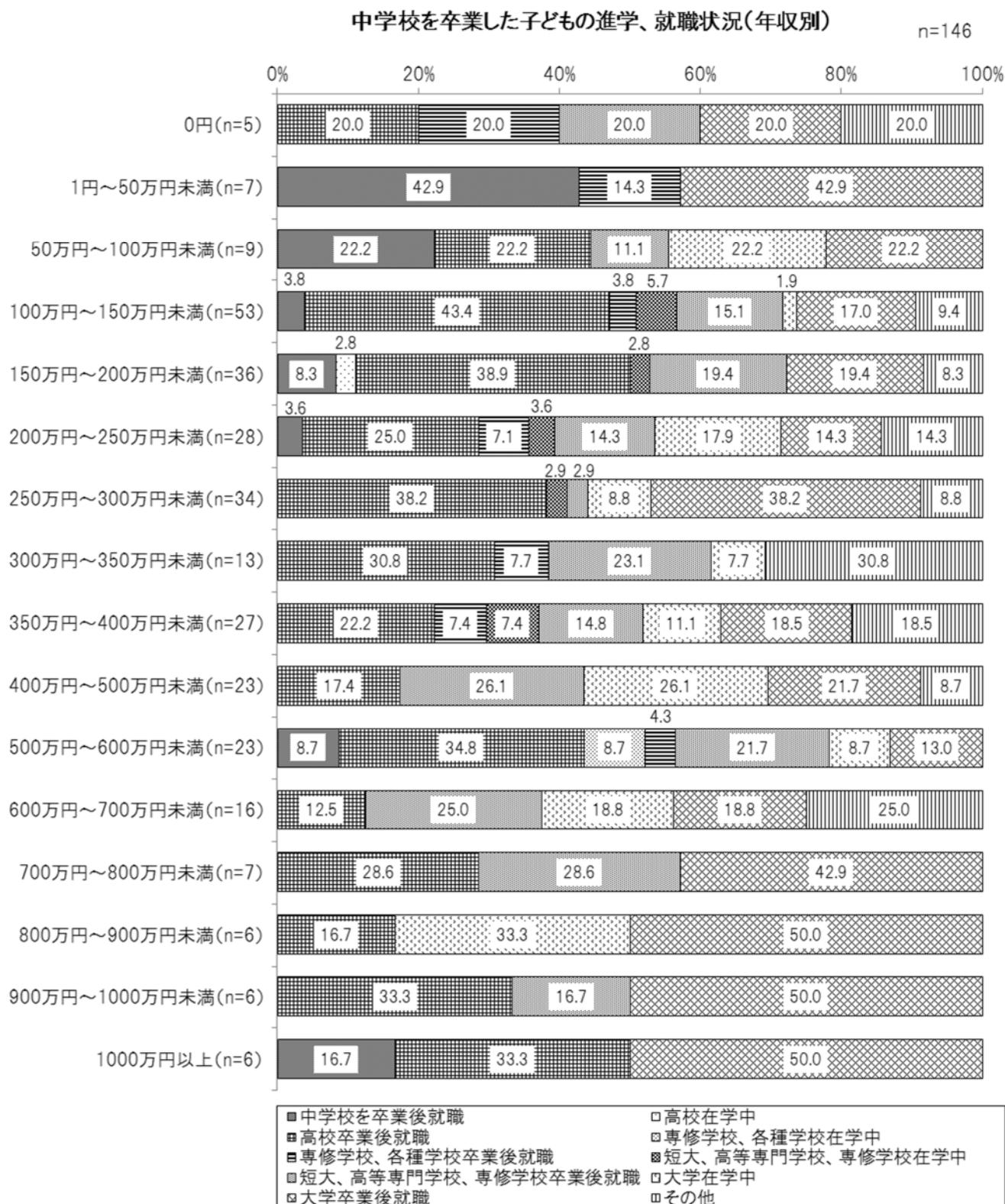
【中学校を卒業したお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】
 お子さんの進学、就職状況について、該当するものすべてに人数を記入してください。すでに結婚されているお子さんについても数に含めてください。
 (「就職」には自営またはそれを手伝う場合を含めます。)

中学校を卒業した子どもの進路は、「高校卒業後就職」が 30.3%と最も高く、次いで「大学卒業後就職」が 22.0%、「短大、高等専門学校、専修学校(専門課程)卒業後就職」が 15.6%の順となっている。また、寡婦世帯の子どもの高校進学率は 84.7%となっている。



①年収別

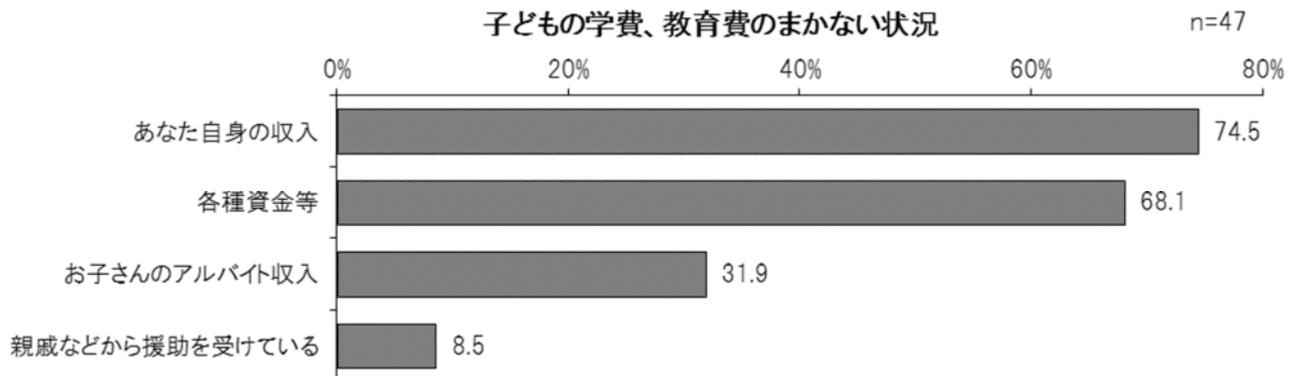
年収別に中学校を卒業した子どもの進学、就職状況をみると、年収「100万円～150万円未満」の世帯では、「高校卒業後就職」と回答した人の割合が43.4%と最も高く、次いで「大学（大学院等も含む）卒業後就職」が17.0%の順となっている。



問 41

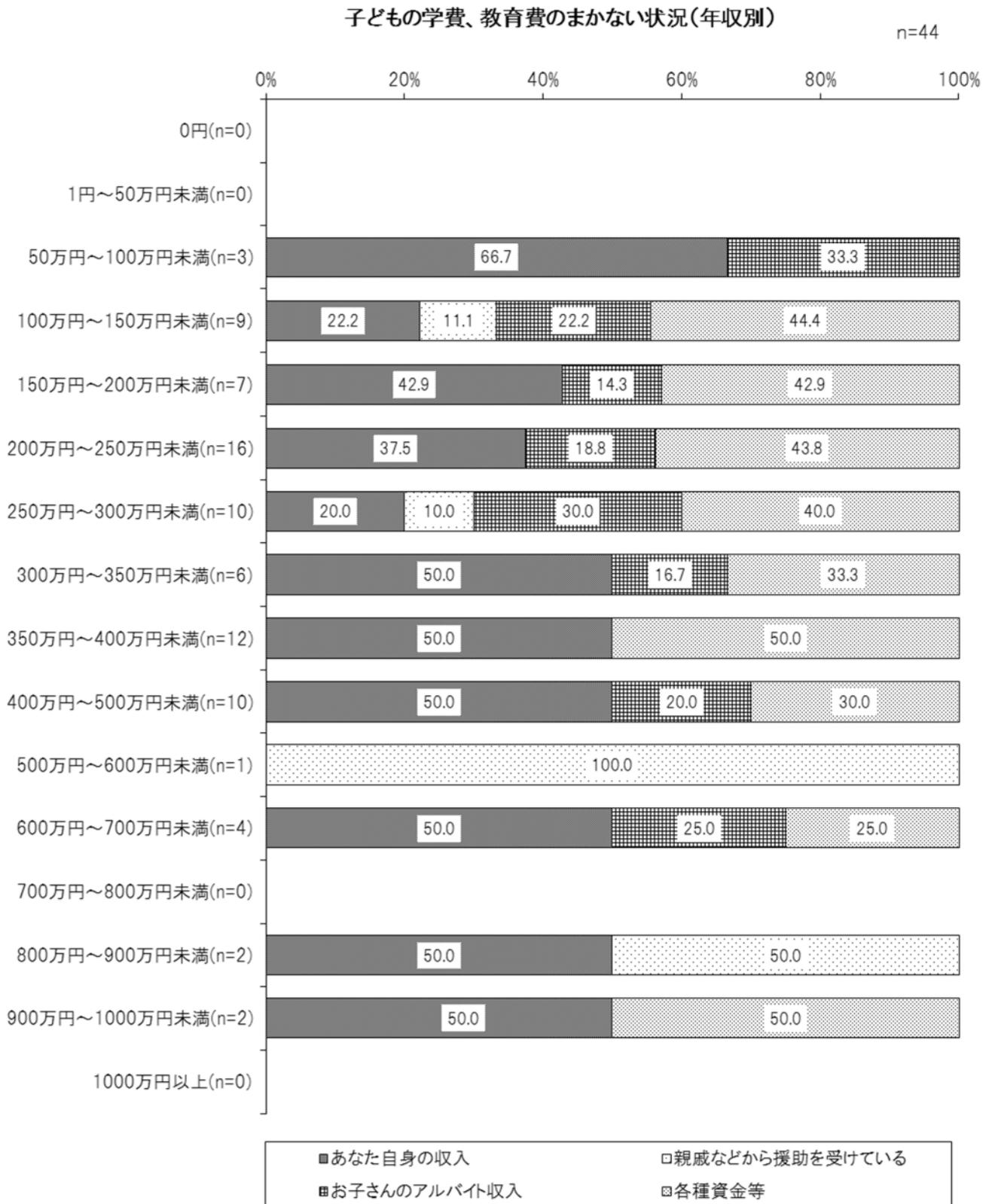
【高校、短大、専修学校、高専、大学、各種学校へ在学しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】
お子さんの学費、教育費は何によってまかなっていますか。該当するものすべてお答えください。

高校以上へ在学している子どもの学費、教育費のまかない状況は、「あなた自身の収入」と回答した人の割合が 74.5%と最も高く、次いで「各種資金等」が 68.1%、「お子さんのアルバイト収入」が 31.9%の順となっている。



①年収別

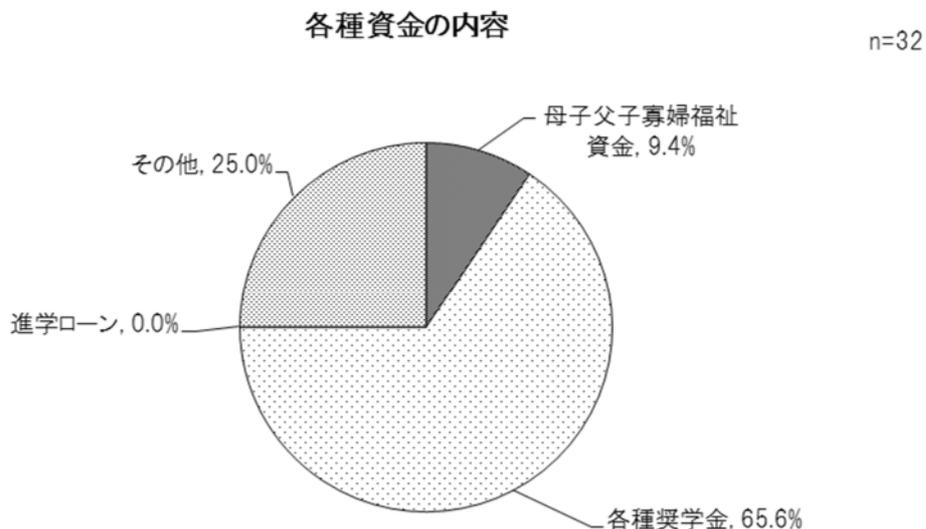
年収別に高校以上へ在学している子どもの学費、教育費のまかない状況をみると、年収「200万円～250万円未満」の世帯では、「各種資金等」と回答した人の割合が43.8%と最も高く、次いで「あなた自身の収入」と回答した人の割合が37.5%の順となっている。



問 41-1

「4 各種資金等」とお答えになった方について、どのような資金ですか。主なものを1つお答えください。

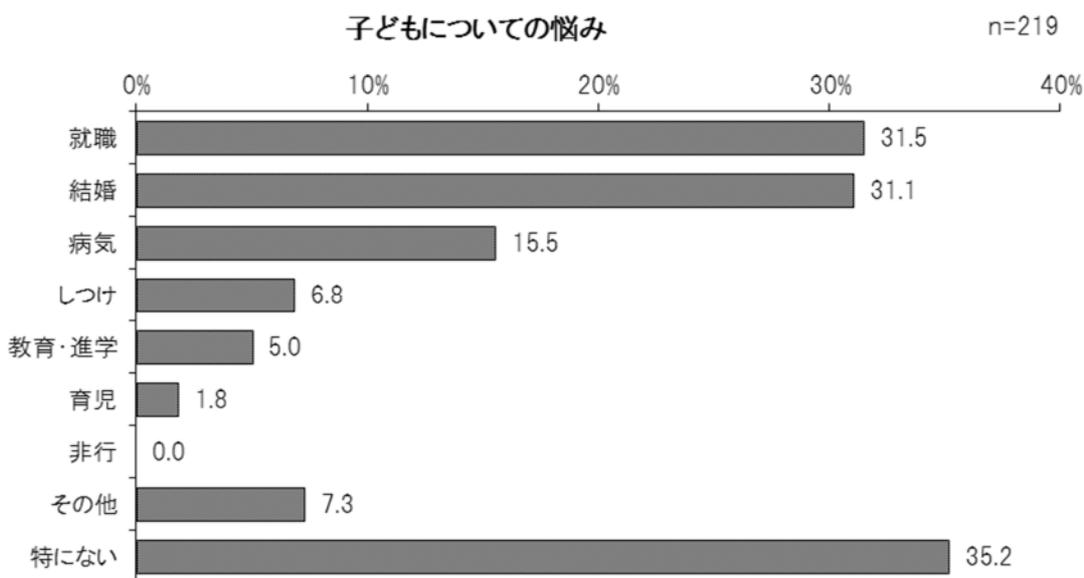
各種資金の内容は、「各種奨学金」と回答した人の割合が65.6%と最も高く、次いで「母子父子寡婦福祉資金」が9.4%の順となっている。



問 42

あなたは、現在お子さんについて何かお悩みになっていることがありますか。主なものを3つ以内でお答えください。

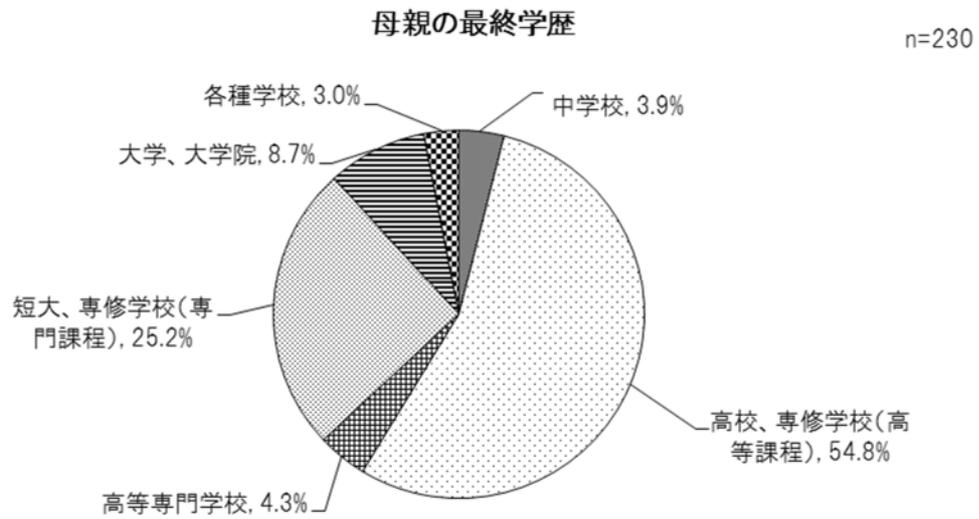
子どもについての悩みは、「就職」と回答した人の割合が31.5%と最も高く、次いで「結婚」が31.1%、「病気」が15.5%の順となっている。



問 43

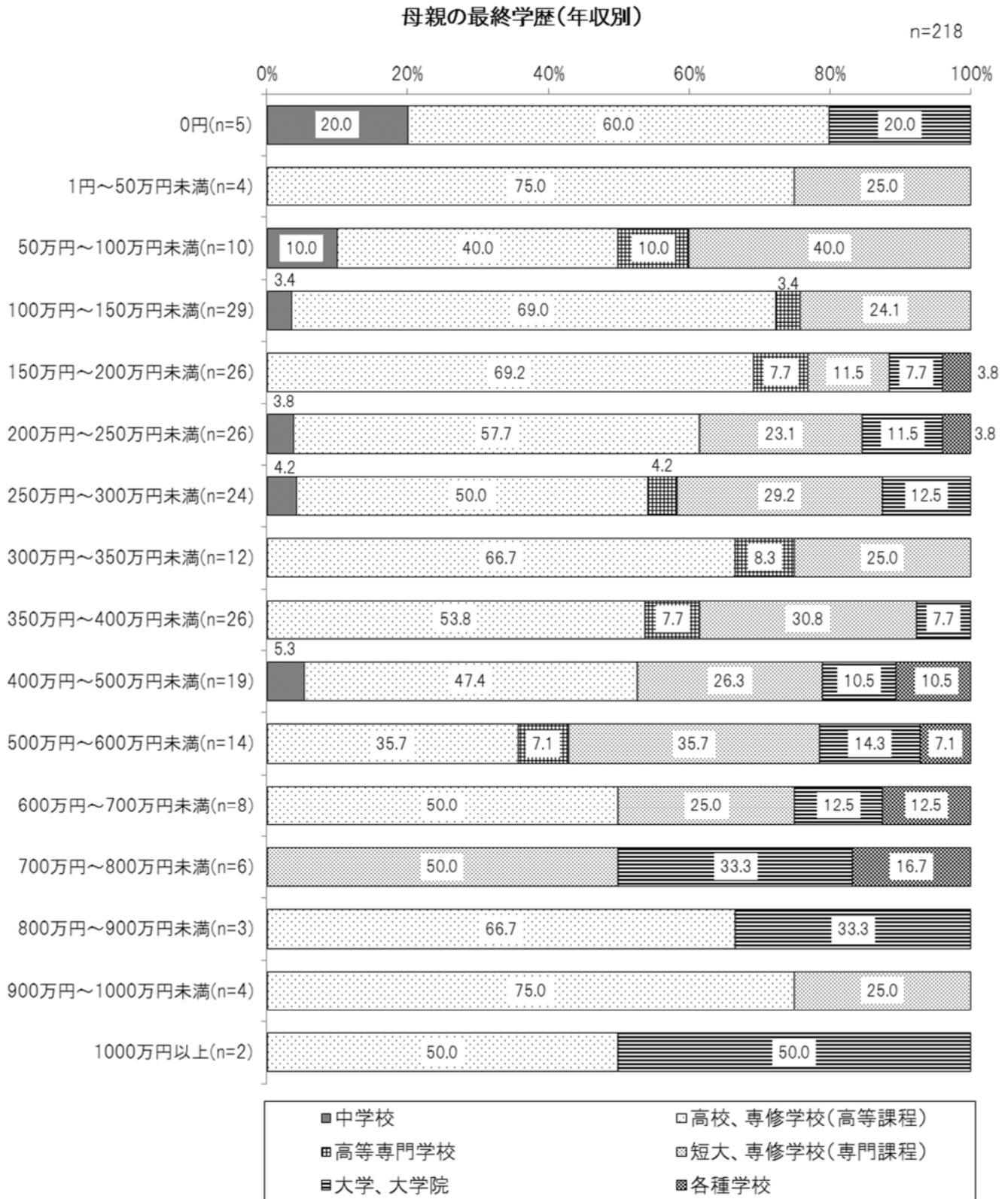
あなたの最終学歴は何ですか。

最終学歴は、「高校、専修学校（高等課程）」と回答した人の割合が 54.8%と最も高く、次いで「短大、専修学校（専門課程）」が 25.2%、「大学、大学院」が 8.7%の順となっている。



①年収別

年収別に最終学歴をみると、年収「100万円～150万円未満」の世帯では、「高校、専修学校（高等課程）」と回答した人の割合が69.0%と最も高く、次いで「短大、専修学校（専門課程）」と回答した人の割合が24.1%の順となっている。

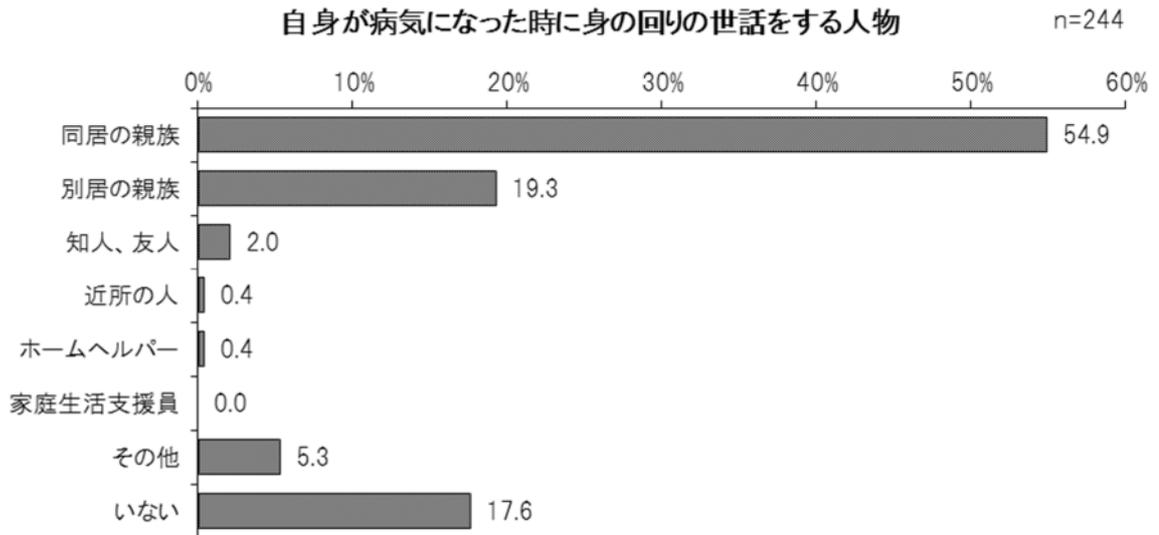


(7) 生活等について

問 44-A

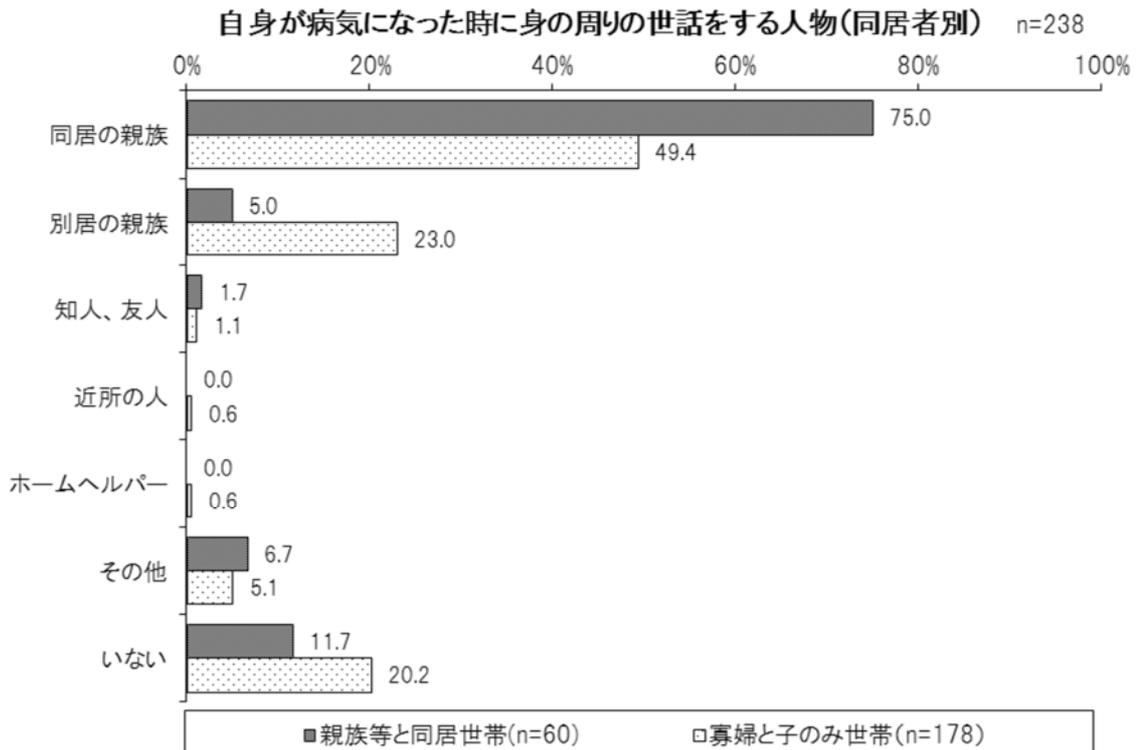
あなたやお子さんが病気などで一時的に看護が必要になったとき、身の回りの世話は、主にどなたがしますか。
【あなたが病気するとき】

自身が病気になった時に、身の回りの世話をする人物は、「同居の親族」と回答した人の割合が54.9%と最も高く、次いで「別居の親族」が19.3%となっている。また、「いない」と回答した人の割合が17.6%となっている。



①同居者別

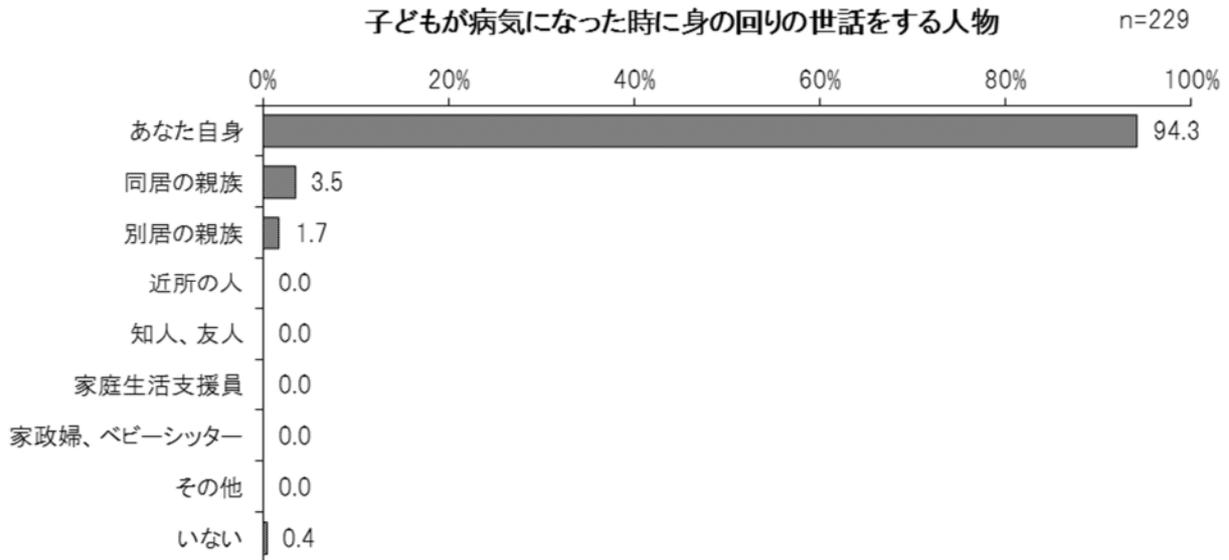
同居者別に自身が病気になった時に、身の回りの世話をする人物をみると、寡婦と子のみ世帯は「いない」と回答した人の割合が20.2%となっており、親族等と同居世帯の11.7%より8.5ポイント高くなっている。



問 44-B

あなたやお子さんが病気などで一時的に看護が必要になったとき、身の回りの世話は、主にどなたがしますか。
【お子さんが病気するとき】

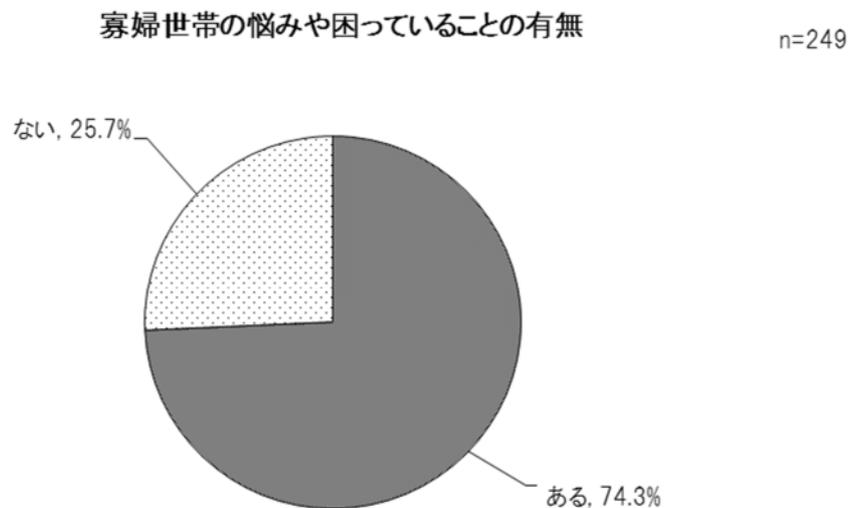
子どもが病気になった時に、身の回りの世話をする人物は、「あなた自身」と回答した人の割合が94.3%と最も高く、次いで「同居の親族」が3.5%、「別居の親族」が1.7%の順となっている。



問 45

あなたは、現在お悩みになっていること・困っていることがありますか。

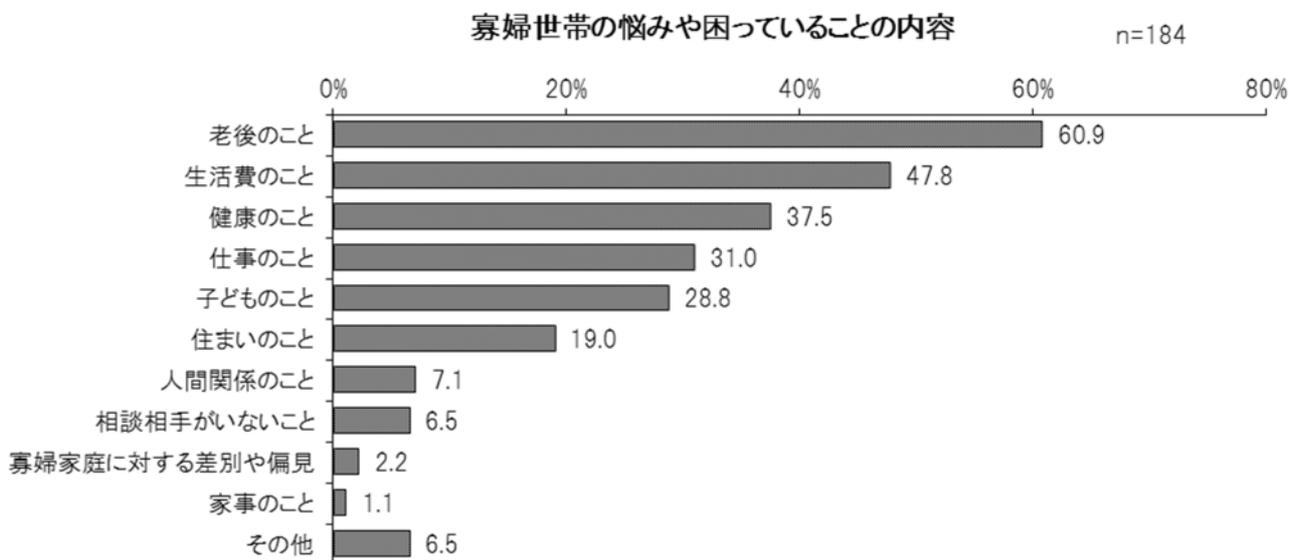
悩んでいることや困っていることの有無は、「ある」と回答した人の割合が74.3%となっている。一方で、「ない」と回答した人の割合が25.7%となっている。



問 45-A

「1 ある」とお答えになった方について、その内容の主なものを、3つ以内でお答えください。

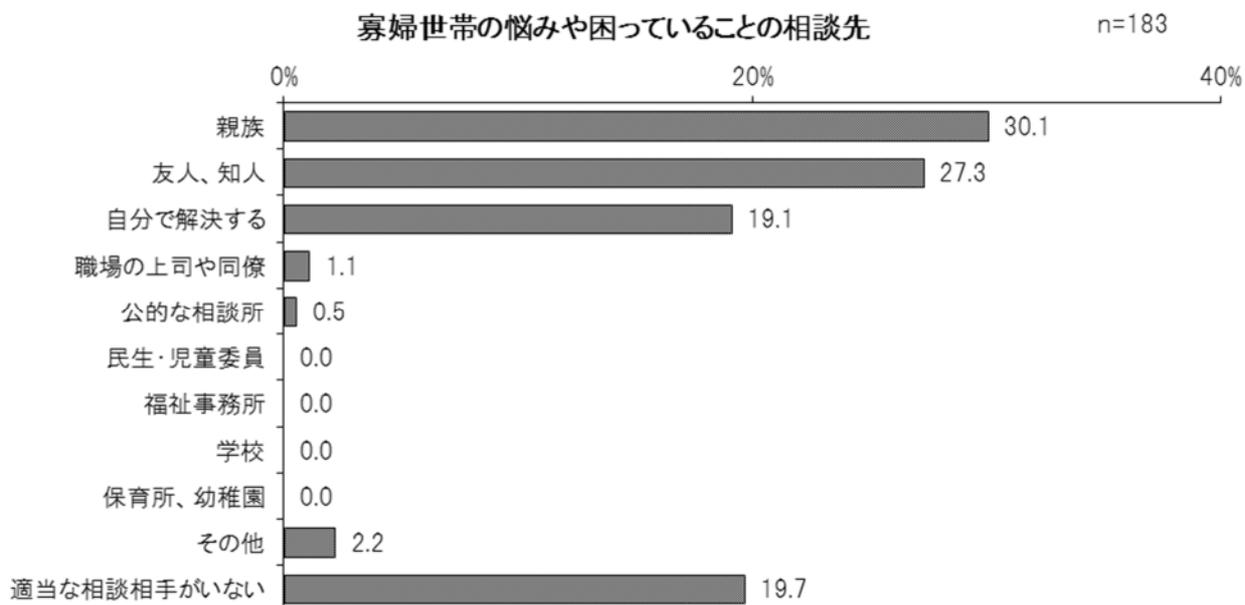
悩んでいることや困っていることの内容をみると、「老後のこと」が60.9%と最も高く、次いで「生活費のこと」が47.8%、「健康のこと」が37.5%、「仕事のこと」が31.0%、「子どものこと」が28.8%の順となっている。



問 45-B

「1 ある」とお答えになった方について、主に誰に相談していますか。1つお答えください。

悩んでいることや困っていることの相談先は、「親族」と回答した人の割合が30.1%と最も高く、次いで「友人、知人」が27.3%、「自分で解決する」が19.1%の順となっている。また、「適当な相談相手がない」と回答した人の割合が19.7%となっている。



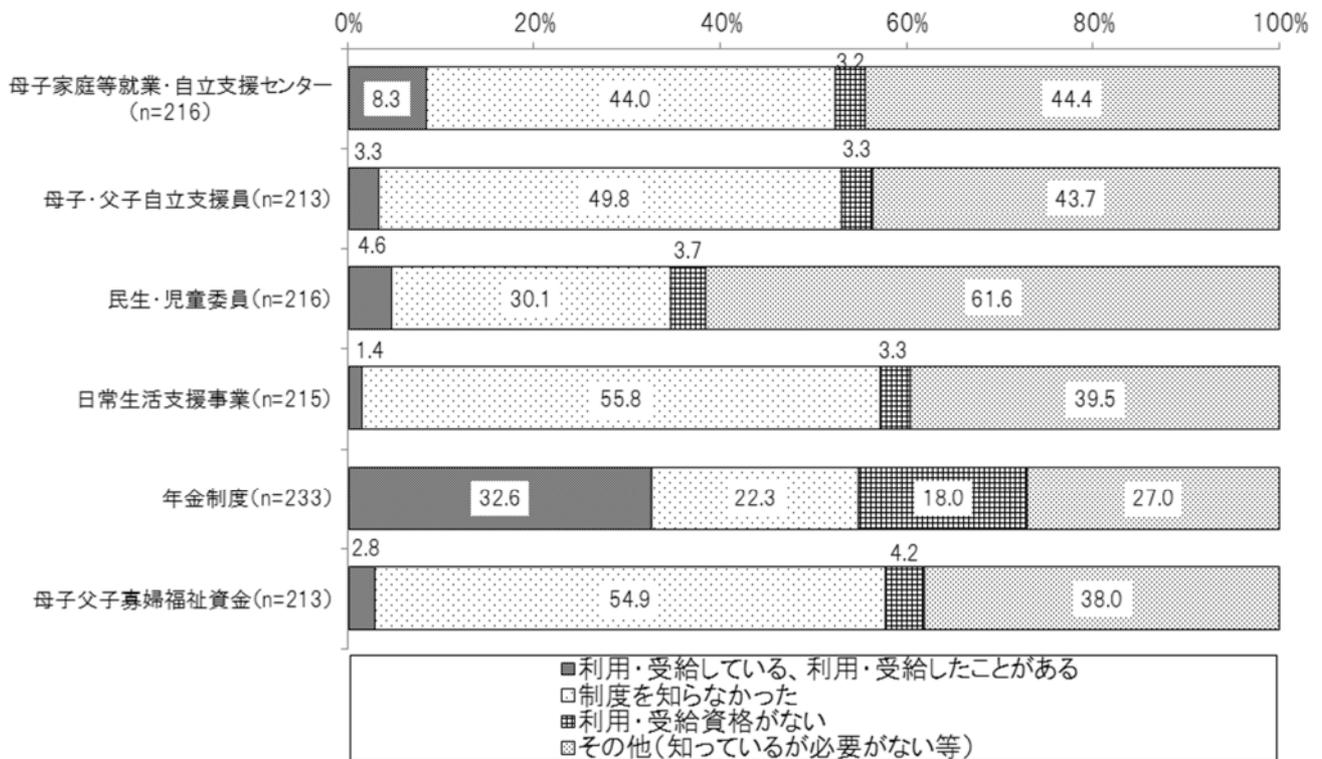
(8) 福祉施策の利用・受給状況について

問 47

次の施策、制度等を利用・受給されたことがありますか。ア～カのそれぞれについて、該当する番号を○で囲んでください。

福祉制度の利用状況について、施策、制度を「利用・受給している、利用・受給したことがある」と回答した人の割合が高い項目は、「年金制度」が 32.6%、「母子家庭等就業・自立支援センター」が 8.3%、「民生・児童委員」が 4.6%の順となっている。一方で、「制度を知らなかった」と回答した人の割合が高い項目は、「日常生活支援事業」が 55.8%、「母子父子寡婦福祉資金」が 54.9%、「母子・父子自立支援員」が 49.8%の順となっている。

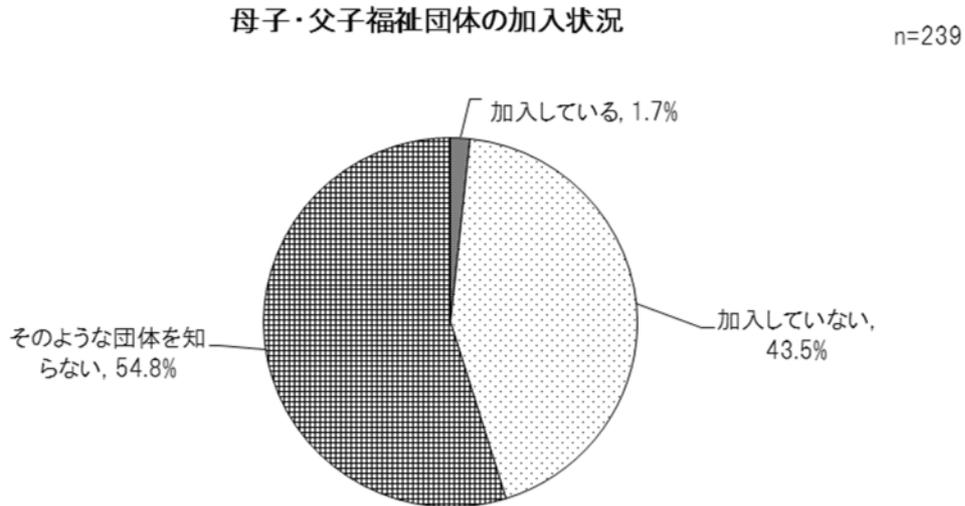
福祉施策の利用・受給状況



問 48

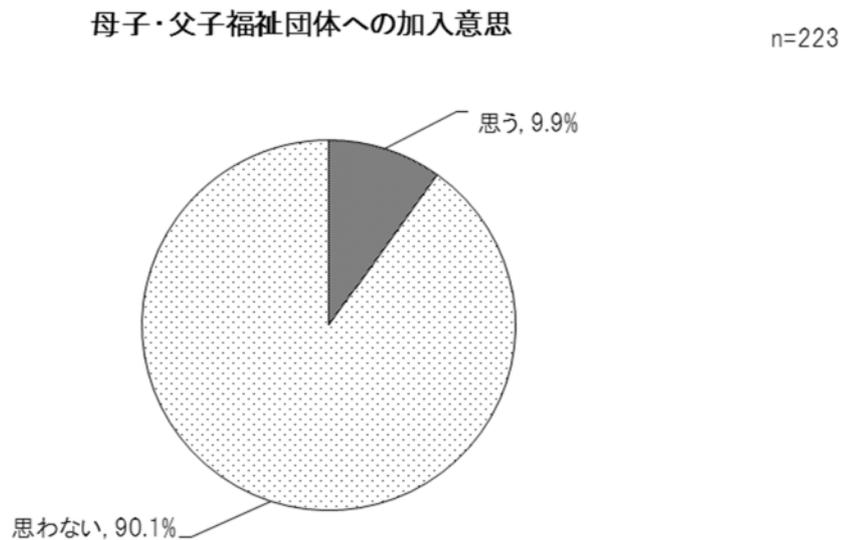
あなたは、母子・父子福祉団体に加入されていますか。

母子・父子福祉団体の加入状況は、「加入している」と回答した人の割合が1.7%、「加入していない」と回答した人の割合が43.5%となっている。一方で、「そのような団体を知らない」と回答した人の割合が54.8%となっている。

**問 48-1**

「2 加入していない」「3 そのような団体を知らない」とお答えになった方について、今後加入したいと思いますか。

母子・父子福祉団体への加入意思は、加入したいと「思う」と回答した人の割合が9.9%となっている。一方で、加入したいと「思わない」と回答した人の割合が90.1%となっている。



(9) 県・市町村の施策について

問 49

県や市町村では寡婦世帯の支援策として①子育て・生活支援②就業支援③養育費の確保④経済的支援を柱に各事業に取り組んでいます。
 現在行っている下記事業のうち、寡婦世帯の方を支援する施策としてあなたが、期待する事業を3つまでお答えください。

期待する、県や市町村が支援する施策は、「仕事から帰るまで安心してお子さんを預けられる制度」が39.0%と最も高く、次いで「福祉向県営・市営・町営住宅募集の優遇措置」が26.6%、「住宅確保等生活に関する相談」が22.9%の順となっている。

